

輸血療法に関する調査

Hiroshima 2011

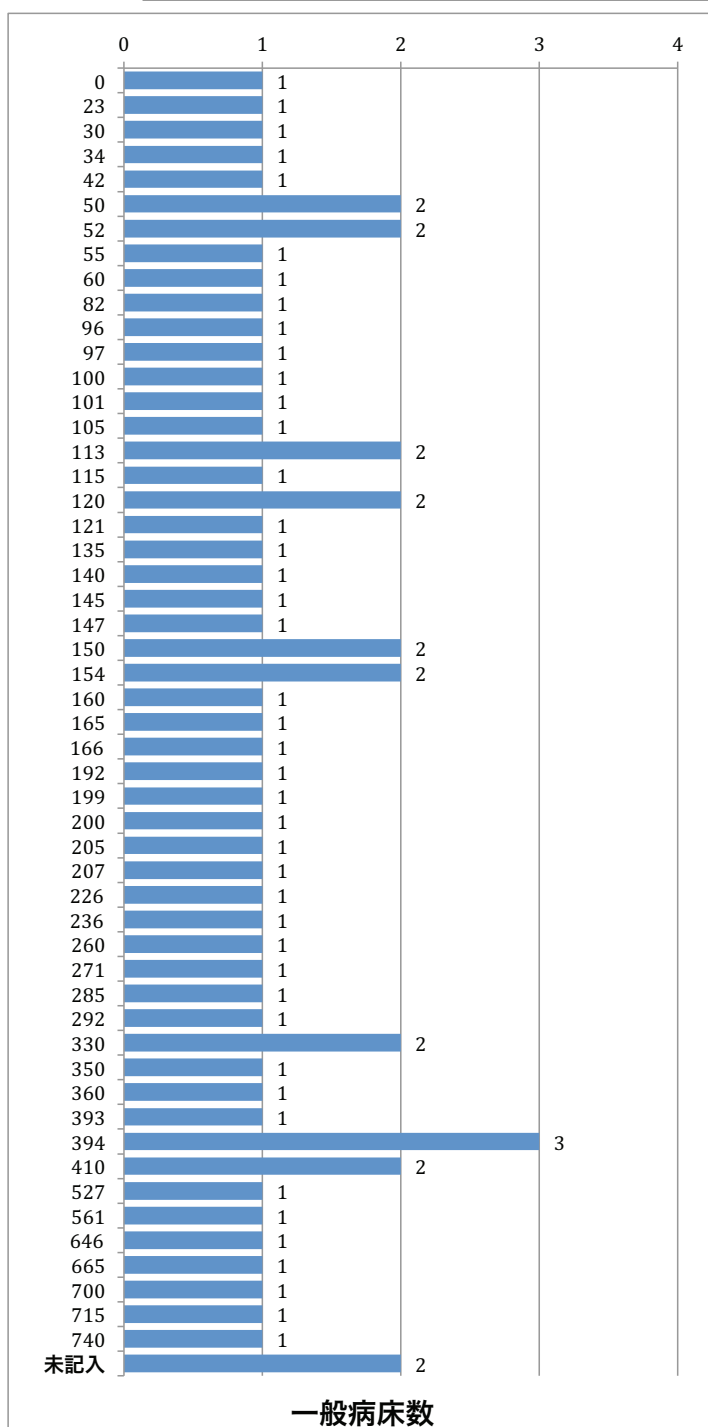
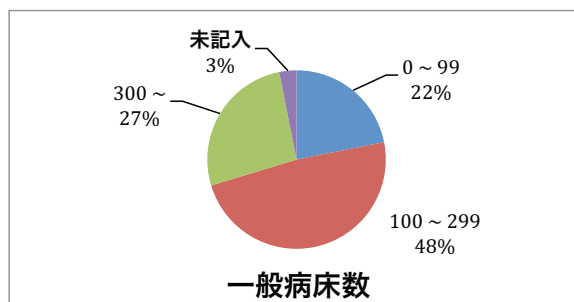
< 単純集計 (N=64) ver.1 >

1. 貴院の概要について

1-a. 病床数

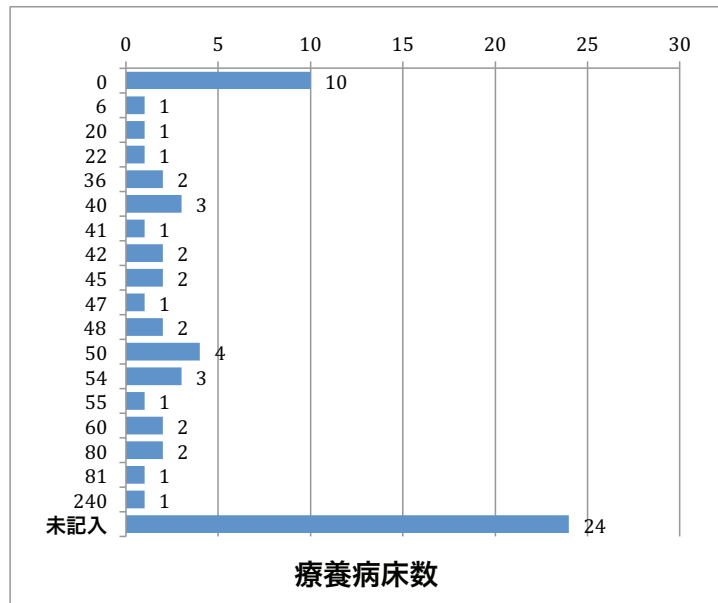
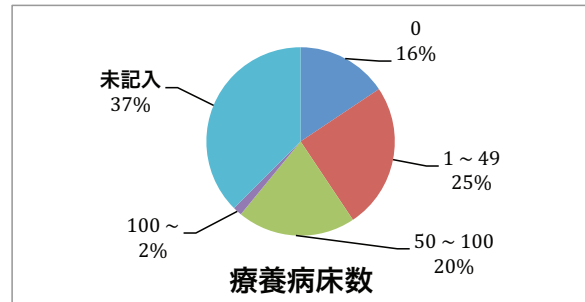
1-a-1. 一般病床数 N=64

水準	度数	病床数	度数	割合
0	1	0 ~ 99	14	21.9%
23	1	100 ~ 299	31	48.4%
30	1	300 ~	17	26.6%
34	1	未記入	2	3.1%
42	1	合計	64	100.0%
50	2			
52	2			
55	1			
60	1			
82	1			
96	1			
97	1			
100	1			
101	1			
105	1			
113	2			
115	1			
120	2			
121	1			
135	1			
140	1			
145	1			
147	1			
150	2			
154	2			
160	1			
165	1			
166	1			
192	1			
199	1			
200	1			
205	1			
207	1			
226	1			
236	1			
260	1			
271	1			
285	1			
292	1			
330	2			
350	1			
360	1			
393	1			
394	3			
410	2			
527	1			
561	1			
646	1			
665	1			
700	1			
715	1			
740	1			
未記入	2			
合計	64			



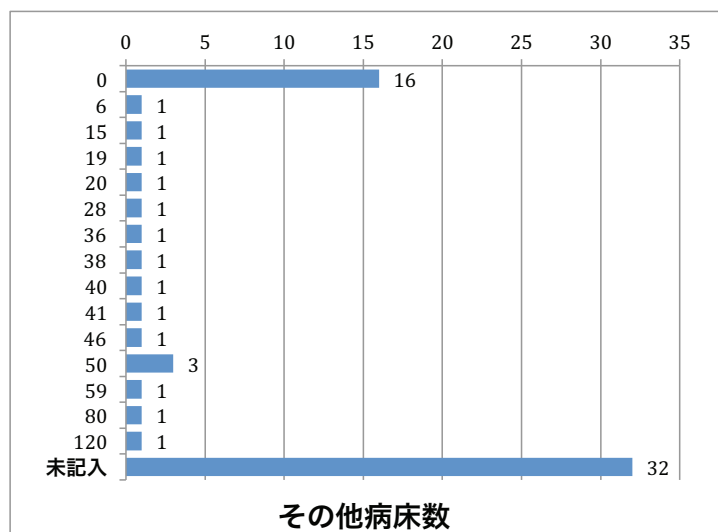
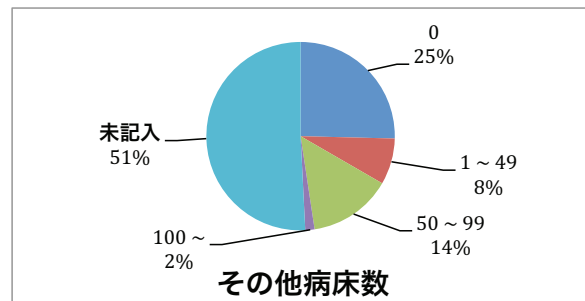
1-a-2. 療養病床数 N=64

水準	度数	病床数	度数	割合
0	10	0	10	15.6%
6	1	1 ~ 49	16	25.0%
20	1	50 ~ 100	13	20.3%
22	1	100 ~	1	1.6%
36	2	未記入	24	37.5%
40	3	合計	64	100.0%
41	1			
42	2			
45	2			
47	1			
48	2			
50	4			
54	3			
55	1			
60	2			
80	2			
81	1			
240	1			
未記入		24		
合計		64		



1-a-3. その他病床数 N=64

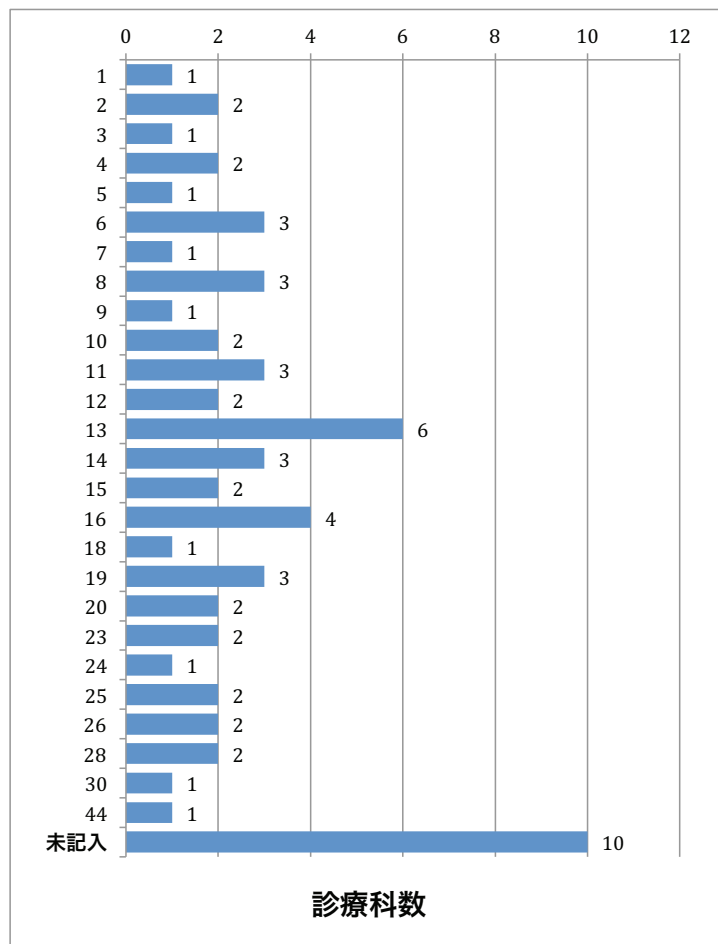
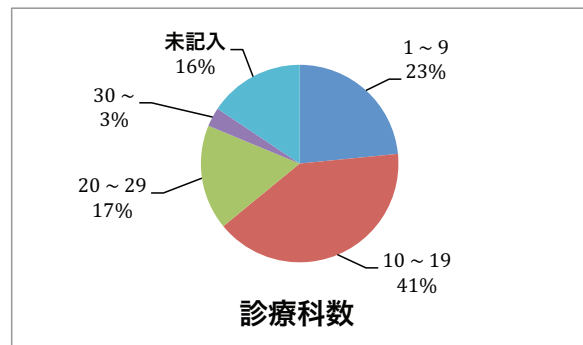
水準	度数	病床数	度数	割合
0	16	0	16	25.0%
6	1	1 ~ 49	5	7.8%
15	1	50 ~ 99	9	14.1%
19	1	100 ~	1	1.6%
20	1	未記入	32	50.0%
28	1	合計	63	98.4%
36	1			
38	1			
40	1			
41	1			
46	1			
50	3			
59	1			
80	1			
120	1			
未記入		32		
合計		64		



1-b. 診療科数

N=64

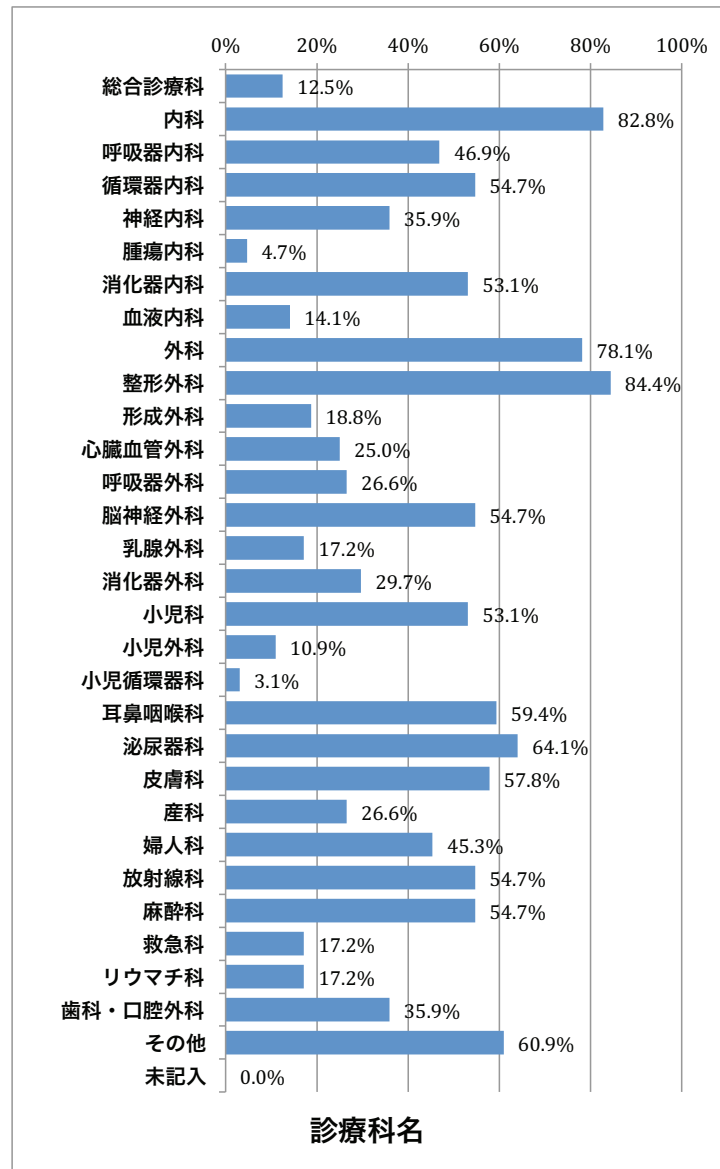
水準	度数	診療科数	度数	割合
1	1	1 ~ 9	15	23.4%
2	2	10 ~ 19	26	40.6%
3	1	20 ~ 29	11	17.2%
4	2	30 ~	2	3.1%
5	1	未記入	10	15.6%
6	3	合計	64	100.0%
7	1			
8	3			
9	1			
10	2			
11	3			
12	2			
13	6			
14	3			
15	2			
16	4			
18	1			
19	3			
20	2			
23	2			
24	1			
25	2			
26	2			
28	2			
30	1			
44	1			
未記入			10	
合計			64	



1-c. 診療科名

N=64

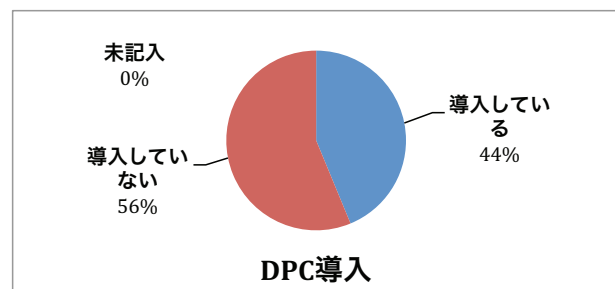
水準	度数	N=64に占める割合
総合診療科	8	12.5%
内科	53	82.8%
呼吸器内科	30	46.9%
循環器内科	35	54.7%
神経内科	23	35.9%
腫瘍内科	3	4.7%
消化器内科	34	53.1%
血液内科	9	14.1%
外科	50	78.1%
整形外科	54	84.4%
形成外科	12	18.8%
心臓血管外科	16	25.0%
呼吸器外科	17	26.6%
脳神経外科	35	54.7%
乳腺外科	11	17.2%
消化器外科	19	29.7%
小児科	34	53.1%
小児外科	7	10.9%
小児循環器科	2	3.1%
耳鼻咽喉科	38	59.4%
泌尿器科	41	64.1%
皮膚科	37	57.8%
産科	17	26.6%
婦人科	29	45.3%
放射線科	35	54.7%
麻酔科	35	54.7%
救急科	11	17.2%
リウマチ科	11	17.2%
歯科・口腔外科	23	35.9%
その他	39	60.9%
未記入	0	0.0%



1-d. DPCを導入しているか

N=64

水準	度数	割合
導入している	28	43.8%
導入していない	36	56.3%
未記入	0	0.0%
合計	64	100.0%

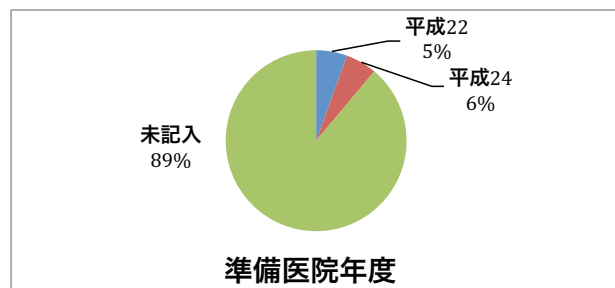


以下[1-dで「導入していない」(N=36)]の回答

準備病院年度

N=36

水準	度数	割合
平成22	2	5.6%
平成24	2	5.6%
未記入	32	88.9%
合計	36	100.0%

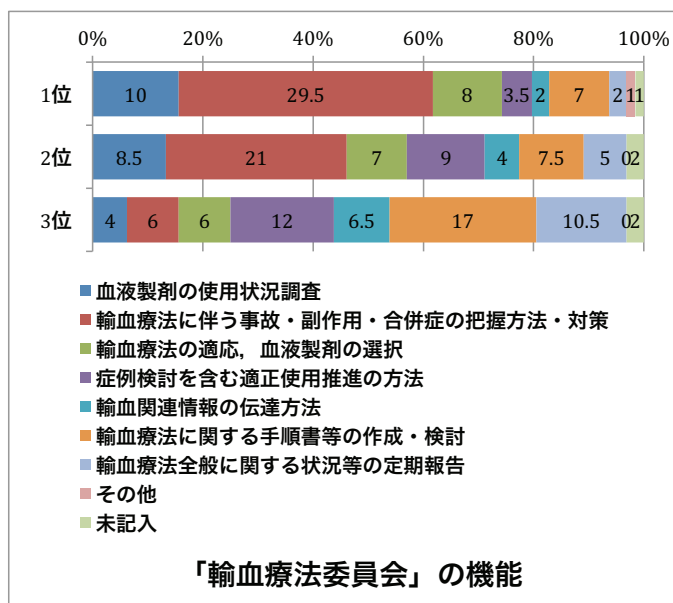


2. 輸血療法委員会について

2-a. 「輸血療法委員会」の機能

N=64

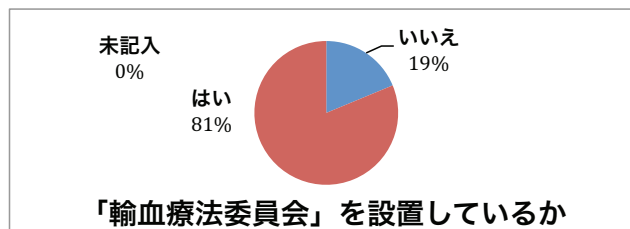
水準	1位	2位	3位
血液製剤の使用状況調査	10	8.5	4
輸血療法に伴う事故・副作用・合併症の把握方法・対策	29.5	21	6
輸血療法の適応, 血液製剤の選択	8	7	6
症例検討を含む適正使用推進の方法	3.5	9	12
輸血関連情報の伝達方法	2	4	6.5
輸血療法に関する手順書等の作成・検討	7	7.5	17
輸血療法全般に関する状況等の定期報告	2	5	10.5
その他	1	0	0
未記入	1	2	2
合計	64	64	64



2-b. 「輸血療法委員会」を設置しているか

N=64

水準	度数	割合
いいえ	12	18.8%
はい	52	81.3%
未記入	0	0.0%
合計	64	100.0%

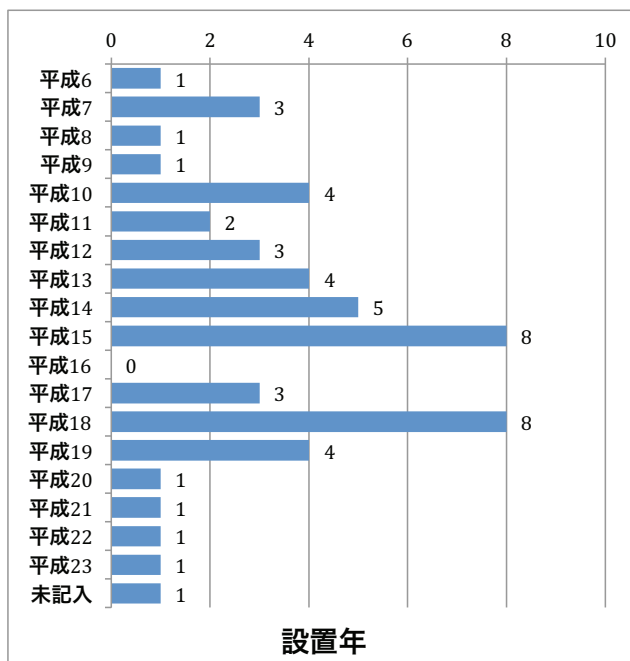


以下[2-bで「はい」(N=52)]の回答

2-b-1. 設置年

N=52

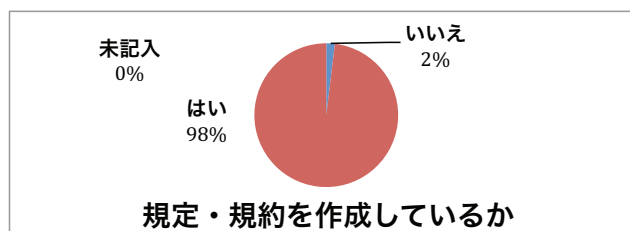
水準	度数	割合
平成6	1	1.9%
平成7	3	5.8%
平成8	1	1.9%
平成9	1	1.9%
平成10	4	7.7%
平成11	2	3.8%
平成12	3	5.8%
平成13	4	7.7%
平成14	5	9.6%
平成15	8	15.4%
平成16	0	0.0%
平成17	3	5.8%
平成18	8	15.4%
平成19	4	7.7%
平成20	1	1.9%
平成21	1	1.9%
平成22	1	1.9%
平成23	1	1.9%
未記入	1	1.9%
合計	52	100.0%



2-b-2. 規定・規約を作成しているか

N=52

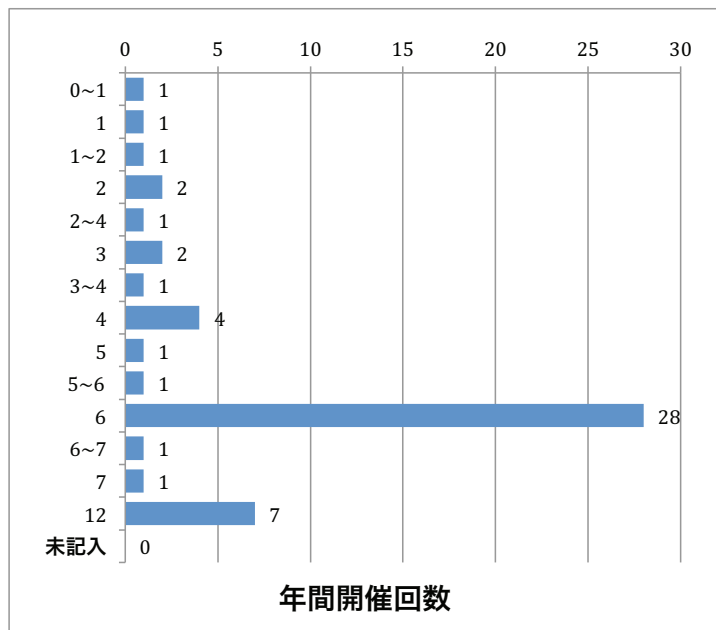
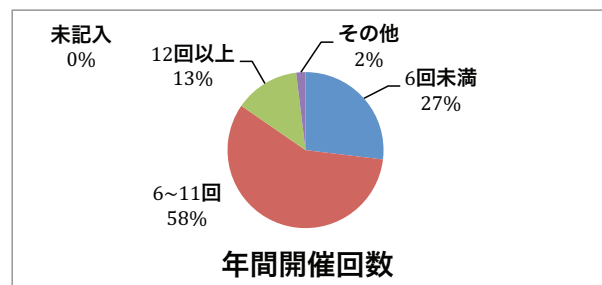
水準	度数	割合
いいえ	1	1.9%
はい	51	98.1%
未記入	0	0.0%
合計	52	100.0%



2-b-3. 年間開催回数

N=52

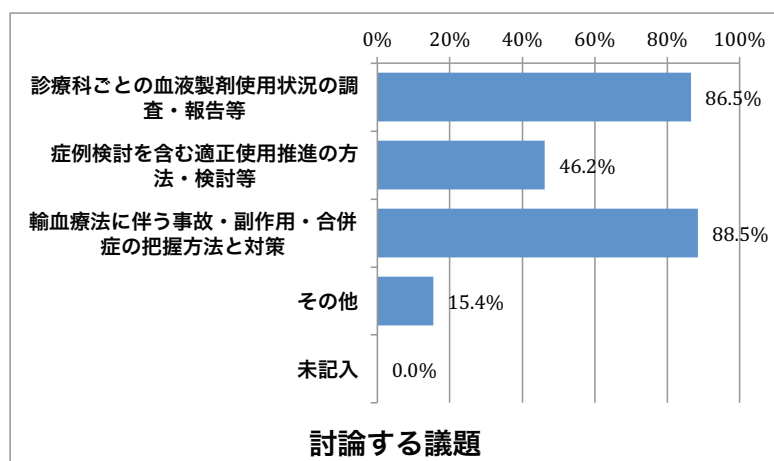
水準	度数	開催回数	度数	割合
0~1	1	6回未満	14	26.9%
1	1	6~11回	30	57.7%
1~2	1	12回以上	7	13.5%
2	2	その他	1	1.9%
2~4	1	未記入	0	0.0%
3	2	合計	52	100.0%
3~4	1			
4	4			
5	1			
5~6	1			
6	28			
6~7	1			
7	1			
12	7			
未記入	0			
合計	52			



2-b-4. 討論する議題

N=52

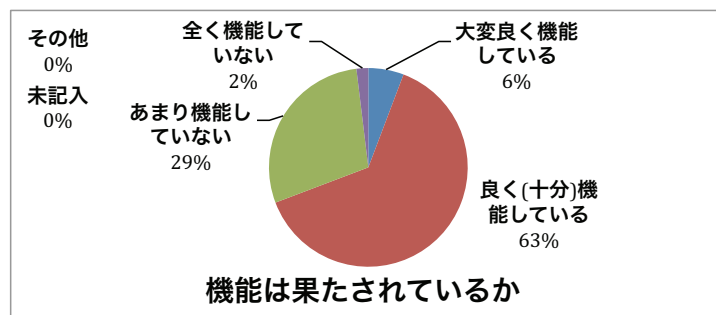
水準	度数	N=52に占める割合
診療科ごとの血液製剤使用状況の調査・報告等	45	86.5%
症例検討を含む適正使用推進の方法・検討等	24	46.2%
輸血療法に伴う事故・副作用・合併症の把握方法と対策	46	88.5%
その他	8	15.4%
未記入	0	0.0%



2-b-5. 「輸血療法委員会」の機能は果たされているか

N=52

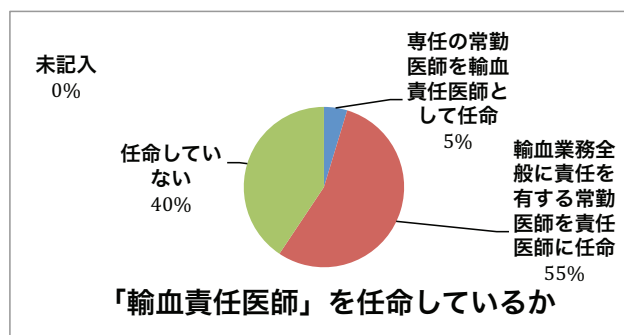
水準	度数	割合
大変良く機能している	3	5.8%
良く(十分)機能している	33	63.5%
あまり機能していない	15	28.8%
全く機能していない	1	1.9%
その他	0	0.0%
未記入	0	0.0%
合計	52	100.0%



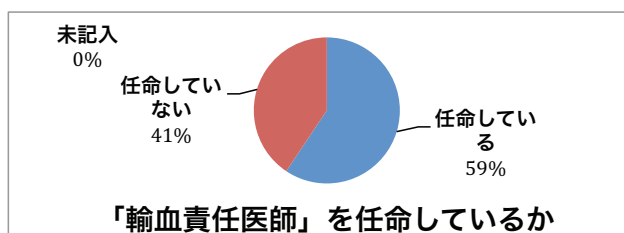
3. 現時点の輸血の管理体制について

3-a. 「輸血責任医師」について

水準	度数	割合	N=64
輸血部門において、輸血業務全般に関する責任者として専任の常勤医師を輸血責任医師として任命している	3	4.7%	
輸血部門において、輸血業務全般に責任を有する常勤医師を、輸血責任医師として任命している	35	54.7%	
輸血責任医師は任命していない	26	40.6%	
未記入	0	0.0%	
合計	64	100.0%	

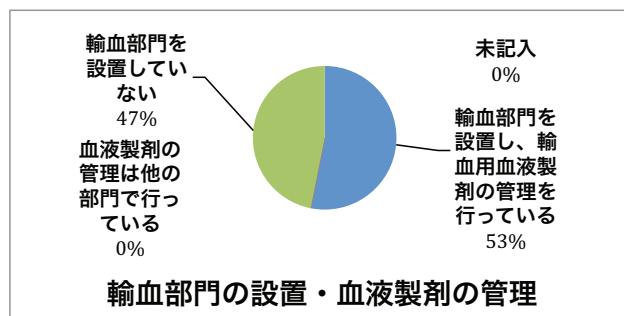


輸血責任医師を任命しているか	度数	割合	N=64
任命している	38	59.4%	
任命していない	26	40.6%	
未記入	0	0.0%	
合計	64	100.0%	



3-b. 輸血部門を設置し、輸血用血液製剤の管理を行っているか

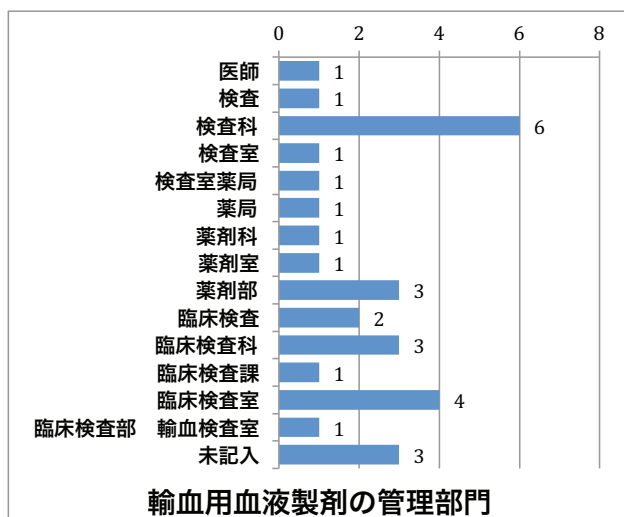
水準	度数	割合	N=64
輸血部門を設置し、輸血用血液製剤の管理を行っている	34	53.1%	
輸血部門を設置しているが、輸血用血液製剤の管理は他の部門で行っている	0	0.0%	
輸血部門を設置していない	30	46.9%	
未記入	0	0.0%	
合計	64	100.0%	



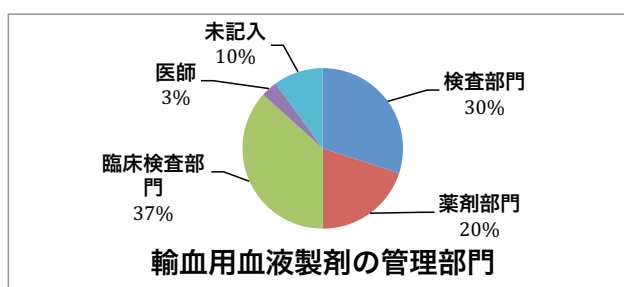
以下[3-bで「輸血部門を設置していない」(N=30)]の回答

輸血用血液製剤の管理部門

水準	度数	割合	N=30
医師	1	3.3%	
検査	1	3.3%	
検査科	6	20.0%	
検査室	1	3.3%	
検査室薬局	1	3.3%	
薬局	1	3.3%	
薬剤科	1	3.3%	
薬剤室	1	3.3%	
薬剤部	3	10.0%	
臨床検査	2	6.7%	
臨床検査科	3	10.0%	
臨床検査課	1	3.3%	
臨床検査室	4	13.3%	
臨床検査部 輸血検査室	1	3.3%	
未記入	3	10.0%	
合計	30	100.0%	



輸血用血液製剤の管理部門	度数	割合	N=30
検査部門	9	30.0%	
薬剤部門	6	20.0%	
臨床検査部門	11	36.7%	
医師	1	3.3%	
未記入	3	10.0%	
合計	30	100.0%	

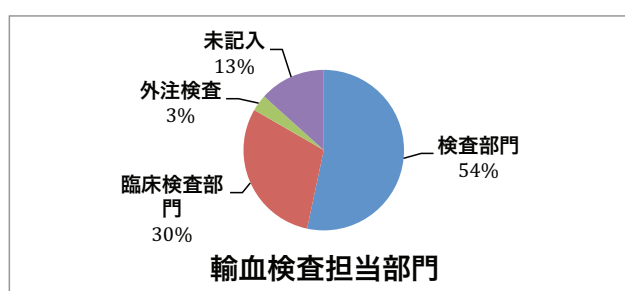
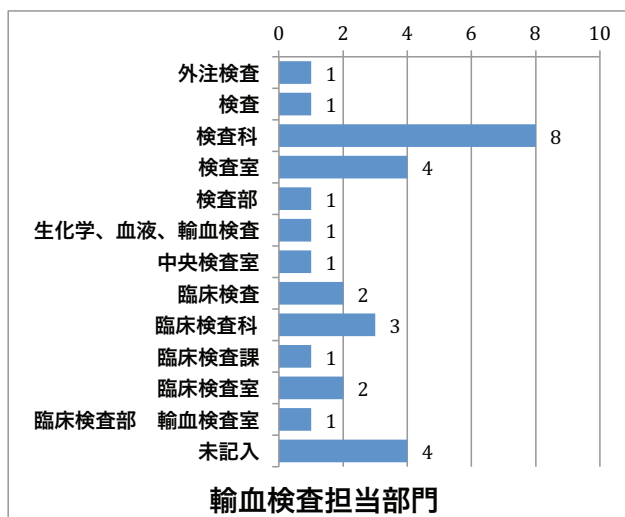


輸血検査担当部門

N=30

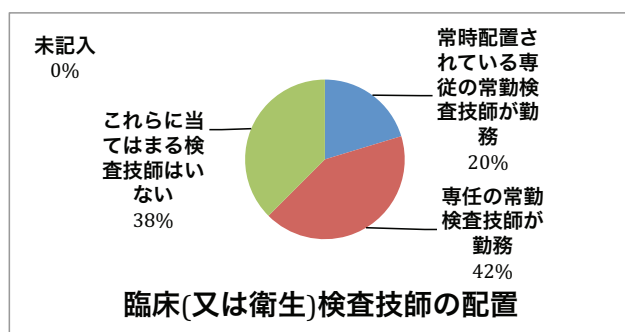
水準	度数	割合
外注検査	1	3.3%
検査	1	3.3%
検査科	8	26.7%
検査室	4	13.3%
検査部	1	3.3%
生化学、血液、輸血検査	1	3.3%
中央検査室	1	3.3%
臨床検査	2	6.7%
臨床検査科	3	10.0%
臨床検査課	1	3.3%
臨床検査室	2	6.7%
臨床検査部 輸血検査室	1	3.3%
未記入	4	13.3%
合計	30	100.0%

輸血検査担当部門	度数	割合
検査部門	16	53.3%
臨床検査部門	9	30.0%
外注検査	1	3.3%
未記入	4	13.3%
合計	30	100.0%

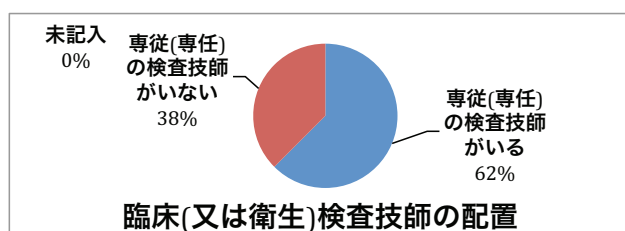


3-c. 臨床(又は衛生)検査技師の配置

水準	度数	割合
輸血部門に常時配置されている、専従の常勤検査技師が勤務している	13	20.3%
輸血部門で、専任の常勤検査技師が勤務している	27	42.2%
これらに当てはまる検査技師はいない	24	37.5%
未記入	0	0.0%
合計	64	100.0%



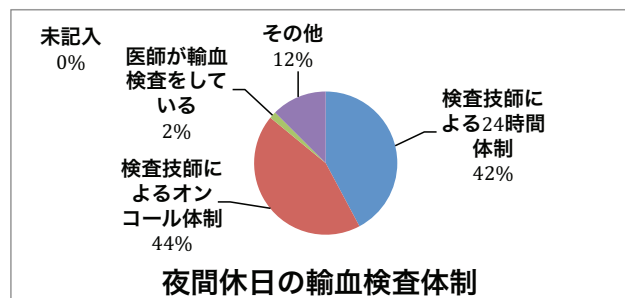
臨床検査技師の配置	度数	割合
専従(専任)の検査技師がいる	40	62.5%
専従(専任)の検査技師がいない	24	37.5%
未記入	0	0.0%
合計	64	100.0%



3-d. 夜間休日の輸血検査体制

N=64

水準	度数	割合
検査技師による輸血検査の24時間体制を実施している	27	42.2%
検査技師によるオンコール体制で輸血検査を実施している	28	43.8%
医師が輸血検査をしている	1	1.6%
その他	8	12.5%
未記入	0	0.0%
合計	64	100.0%

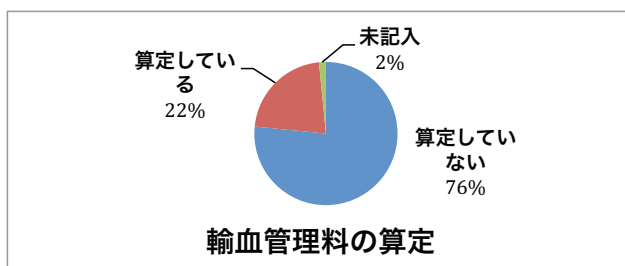


4. 輸血管理料について

4-a. 輸血管理料の算定をしているか

N=64

水準	度数	割合
算定していない	49	76.6%
算定している	14	21.9%
未記入	1	1.6%
合計	64	100.0%

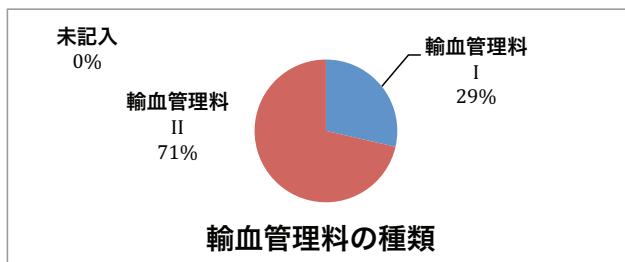


以下[4-aで「算定している」(N=14)]の回答

輸血管理料の種類

N=14

水準	度数	割合
輸血管理料Ⅰ	4	28.6%
輸血管理料Ⅱ	10	71.4%
未記入	0	0.0%
合計	14	100.0%

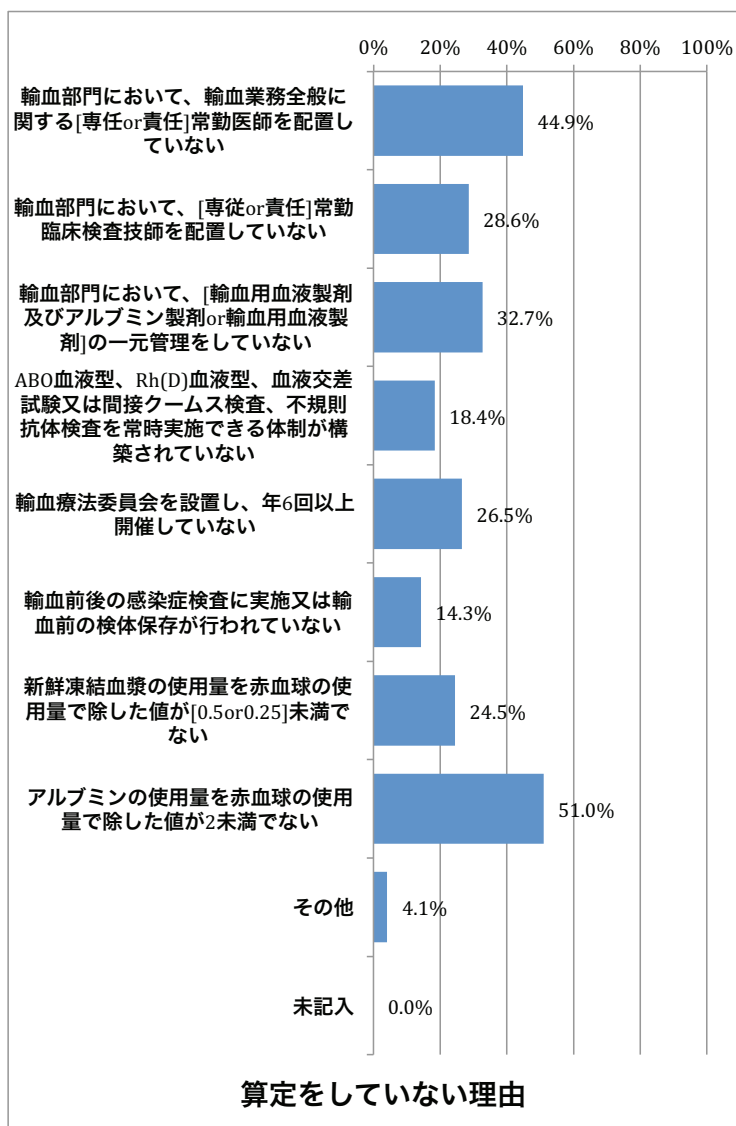


以下[4-aで「算定していない」(N=49)]の回答

4-a-1. 算定をしていない理由

N=49

水準	度数	N=49に占める割合
輸血部門において、輸血業務全般に関する[専任or責任]常勤医師を配置していない	22	44.9%
輸血部門において、[専従or責任]常勤臨床検査技師を配置していない	14	28.6%
輸血部門において、[輸血用血液製剤及びアルブミン製剤or輸血用血液製剤]の一元管理をしていない	16	32.7%
ABO血液型、Rh(D)血液型、血液交差試験又は間接クームス検査、不規則抗体検査を常時実施できる体制が構築されていない	9	18.4%
輸血療法委員会を設置し、年6回以上開催していない	13	26.5%
輸血前後の感染症検査に実施又は輸血前の検体保存が行われていない	7	14.3%
新鮮凍結血漿の使用量を赤血球の使用量で除した値が[0.5or0.25]未満でない	12	24.5%
アルブミンの使用量を赤血球の使用量で除した値が2未満でない	25	51.0%
その他	2	4.1%
未記入	0	0.0%

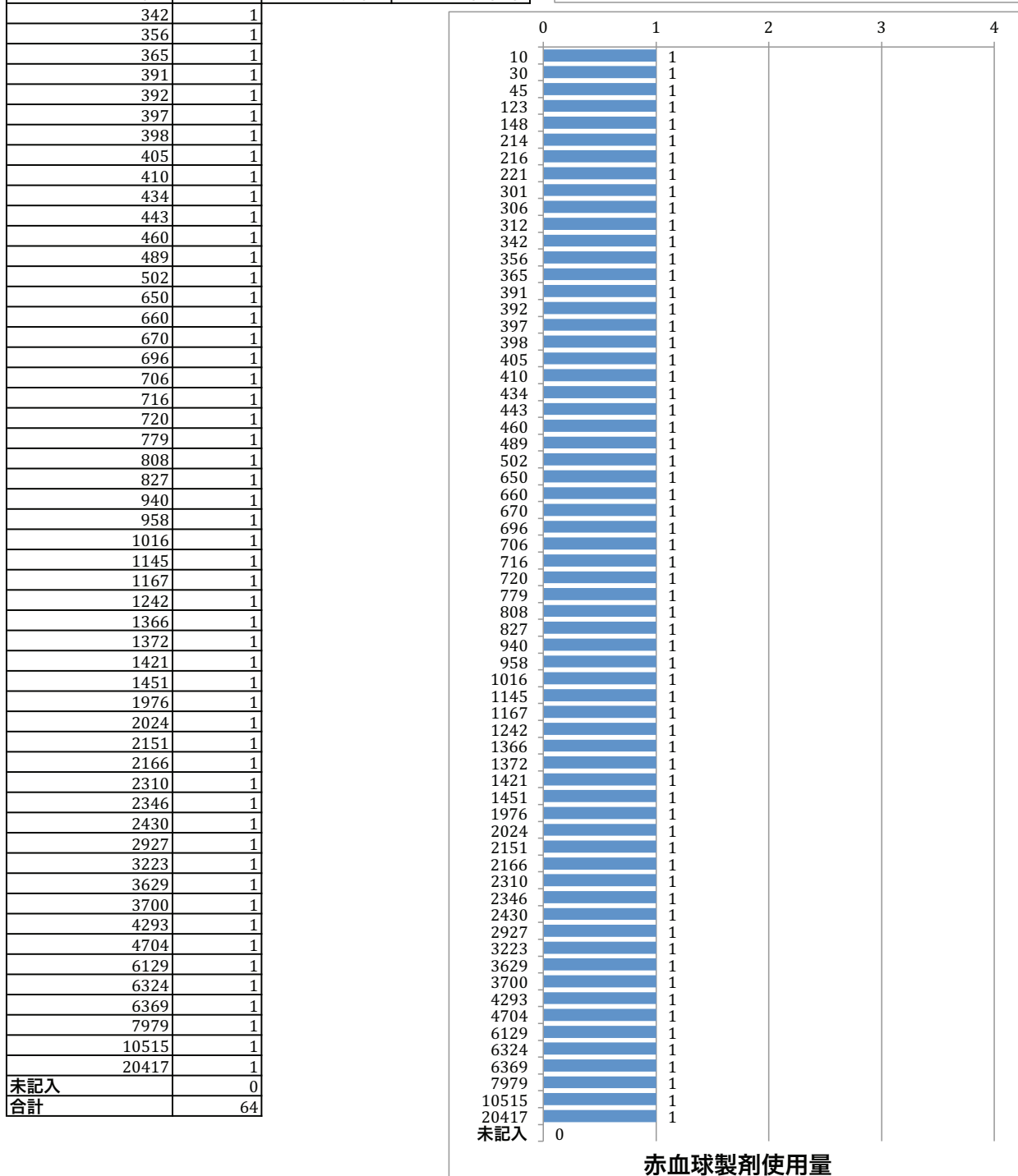
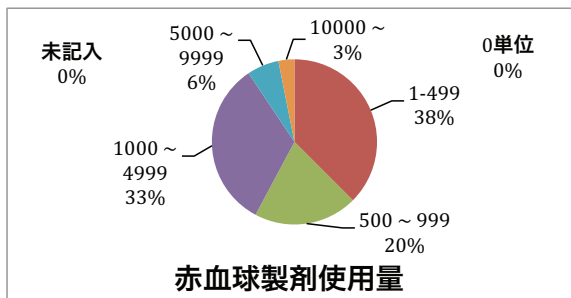


5. 血液製剤の使用について

5-a. 平成22年(又は平成22年度)の血液製剤使用量

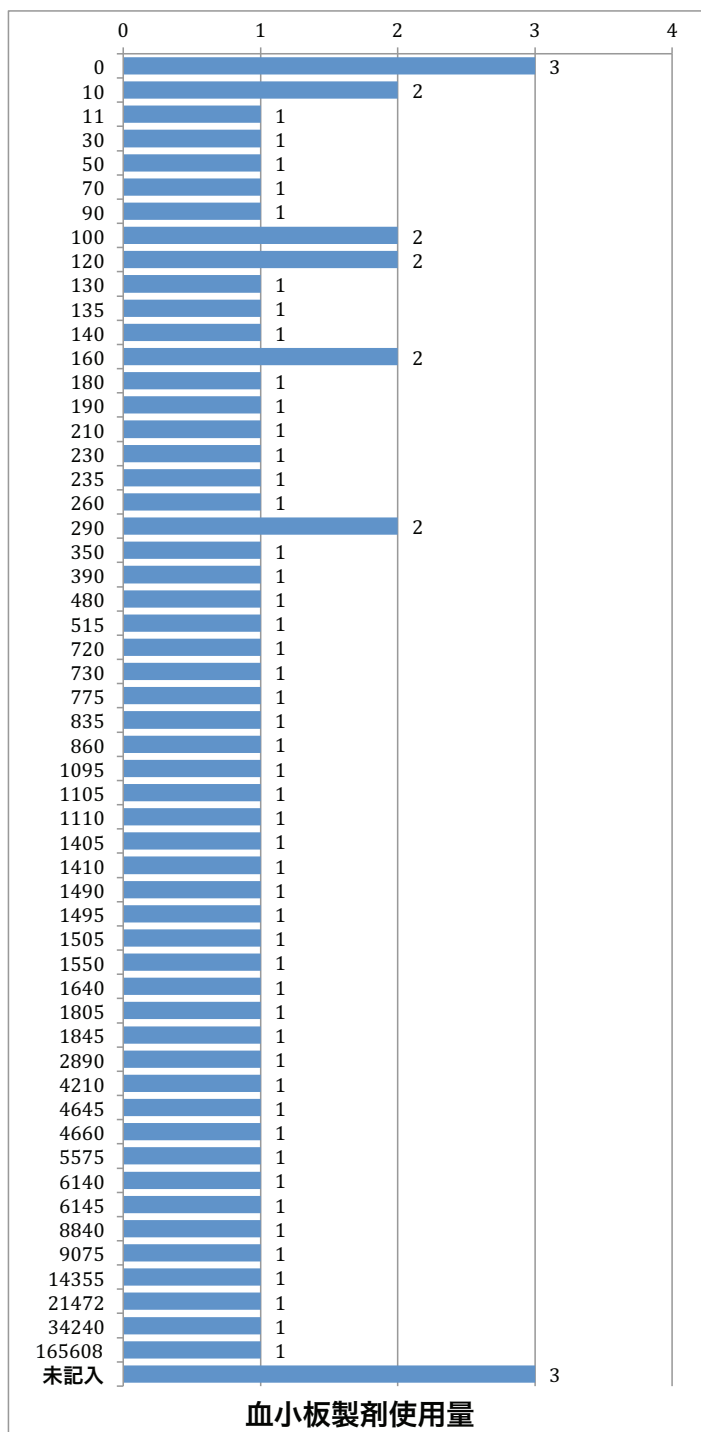
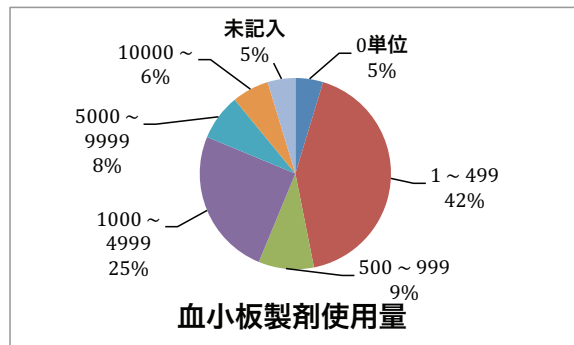
5-a-1. 赤血球製剤 N=64

水準	度数	使用量	度数	割合
10	1	0単位	0	0.0%
30	1	1-499	24	37.5%
45	1	500 ~ 999	13	20.3%
123	1	1000 ~ 4999	21	32.8%
148	1	5000 ~ 9999	4	6.3%
214	1	10000 ~	2	3.1%
216	1	未記入	0	0.0%
221	1	合計	64	100.0%
301	1			
306	1	平均使用量	SD	
312	1	1916.1	3131.3	



5-a-2. 血小板製剤 N=64

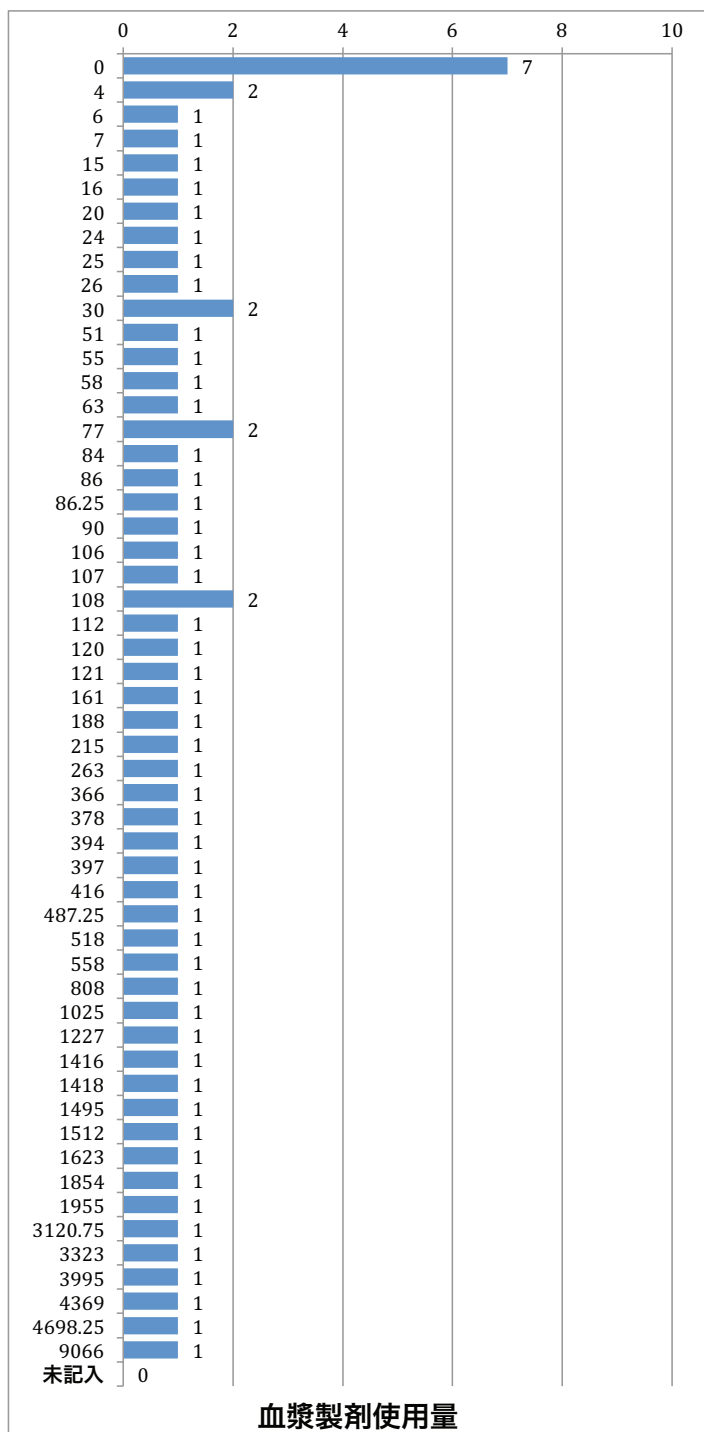
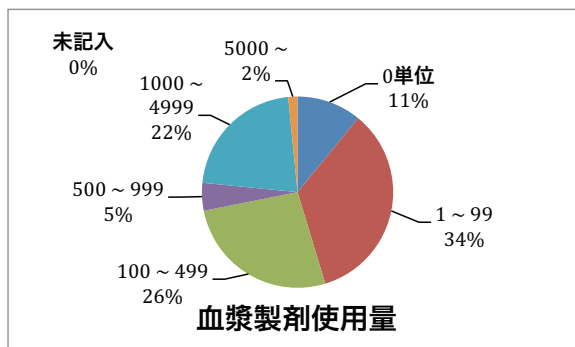
水準	度数	使用量	度数	割合
0	3	0単位	3	4.7%
10	2	1 ~ 499	27	42.2%
11	1	500 ~ 999	6	9.4%
30	1	1000 ~ 4999	16	25.0%
50	1	5000 ~ 9999	5	7.8%
70	1	10000 ~	4	6.3%
90	1	未記入	3	4.7%
100	2	合計	64	100.0%
120	2			
130	1	平均使用量	SD	
135	1	5152.2	21607.6	
140	1			
160	2			
180	1			
190	1			
210	1			
230	1			
235	1			
260	1			
290	2			
350	1			
390	1			
480	1			
515	1			
720	1			
730	1			
775	1			
835	1			
860	1			
1095	1			
1105	1			
1110	1			
1405	1			
1410	1			
1490	1			
1495	1			
1505	1			
1550	1			
1640	1			
1805	1			
1845	1			
2890	1			
4210	1			
4645	1			
4660	1			
5575	1			
6140	1			
6145	1			
8840	1			
9075	1			
14355	1			
21472	1			
34240	1			
165608	1			
未記入	3			
合計	64			



5-a-3. 血漿製剤

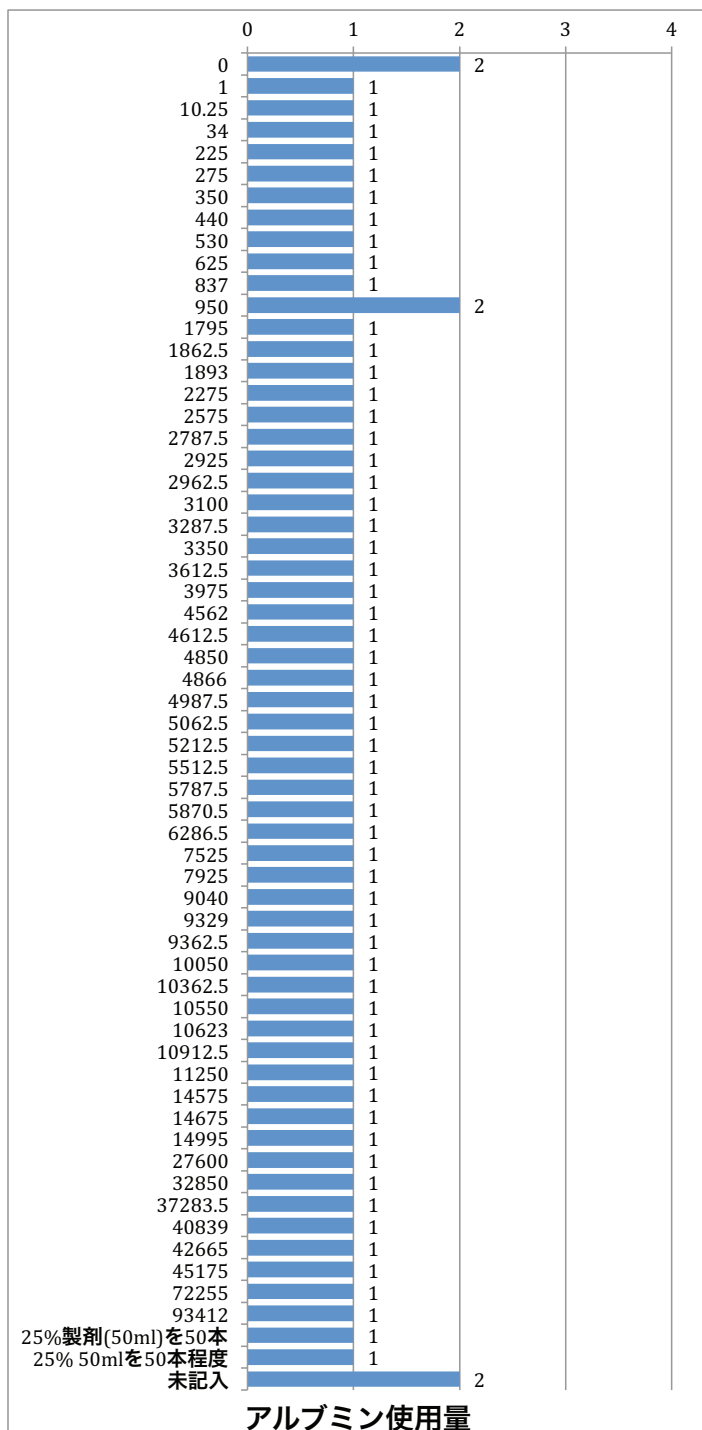
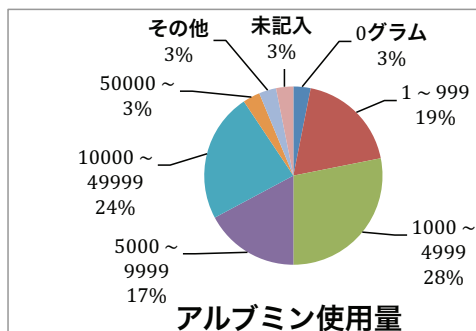
N=64

水準	度数	使用量	度数	割合
0	7	0単位	7	10.9%
4	2	1 ~ 99	22	34.4%
6	1	100 ~ 499	17	26.6%
7	1	500 ~ 999	3	4.7%
15	1	1000 ~ 4999	14	21.9%
16	1	5000 ~	1	1.6%
20	1	未記入	0	0.0%
24	1	合計	64	100.0%
25	1			
26	1	平均使用量	SD	
30	2	765.04	1523.26	
51	1			
55	1			
58	1			
63	1			
77	2			
84	1			
86	1			
86.25	1			
90	1			
106	1			
107	1			
108	2			
112	1			
120	1			
121	1			
161	1			
188	1			
215	1			
263	1			
366	1			
378	1			
394	1			
397	1			
416	1			
487.25	1			
518	1			
558	1			
808	1			
1025	1			
1227	1			
1416	1			
1418	1			
1495	1			
1512	1			
1623	1			
1854	1			
1955	1			
3120.75	1			
3323	1			
3995	1			
4369	1			
4698.25	1			
9066	1			
未記入	0			
合計	64			



5-a-4. アルブミン N=64

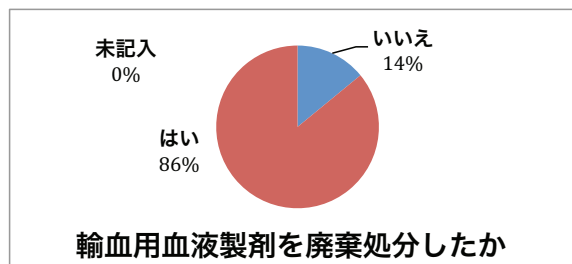
水準	度数	使用量	度数	割合
0	2	0グラム	2	3.1%
1	1	1～999	12	18.8%
10.25	1	1000～4999	18	28.1%
34	1	5000～9999	11	17.2%
225	1	10000～49999	15	23.4%
275	1	50000～	2	3.1%
350	1	その他	2	3.1%
440	1	未記入	2	3.1%
530	1	合計	64	100.0%
625	1			
837	1	平均使用量	SD	
950	2	10708.20	17442.05	
1795	1			
1862.5	1			
1893	1			
2275	1			
2575	1			
2787.5	1			
2925	1			
2962.5	1			
3100	1			
3287.5	1			
3350	1			
3612.5	1			
3975	1			
4562	1			
4612.5	1			
4850	1			
4866	1			
4987.5	1			
5062.5	1			
5212.5	1			
5512.5	1			
5787.5	1			
5870.5	1			
6286.5	1			
7525	1			
7925	1			
9040	1			
9329	1			
9362.5	1			
10050	1			
10362.5	1			
10550	1			
10623	1			
10912.5	1			
11250	1			
14575	1			
14675	1			
14995	1			
27600	1			
32850	1			
37283.5	1			
40839	1			
42665	1			
45175	1			
72255	1			
93412	1			
25%製剤(50ml)を50本	1			
25% 50mlを50本程度	1			
未記入	2			
合計	64			



5-b. 平成22年(又は平成22年度)に輸血用血液製剤を廃棄処分したか

水準	度数	割合
いいえ	9	14.1%
はい	55	85.9%
未記入	0	0.0%
合計	64	100.0%

N=64



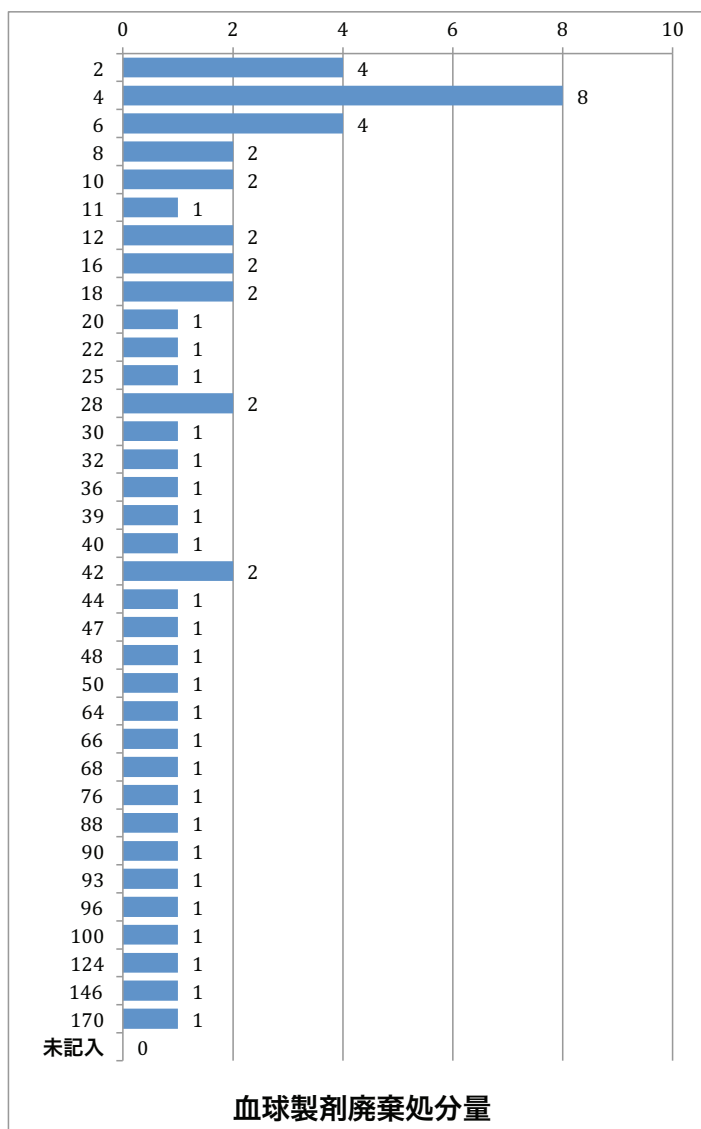
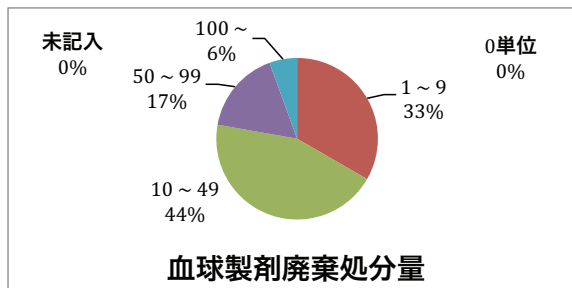
以下[5-bで「はい」(N=55)]の回答

廃棄処分量

1. 血球製剤

N=55

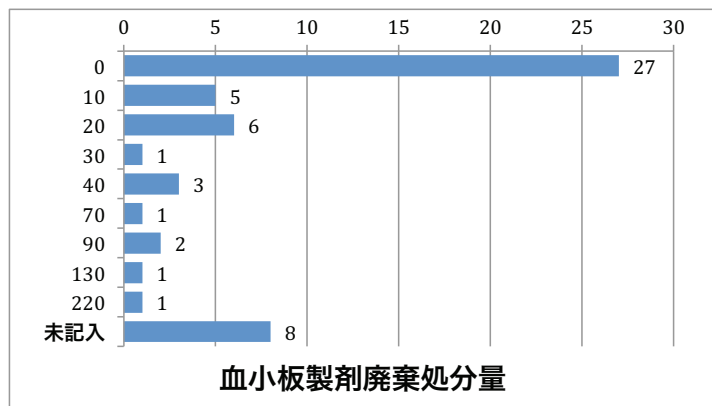
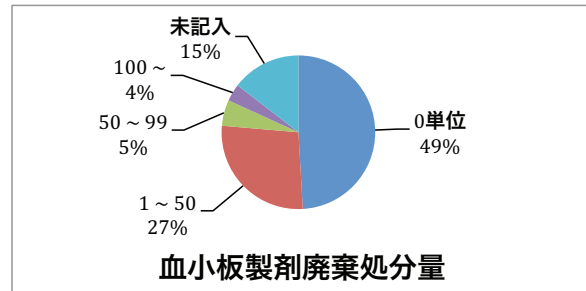
水準	度数	廃棄処分量	度数	割合
2	4	0単位	0	0.0%
4	8	1～9	18	33.3%
6	4	10～49	24	44.4%
8	2	50～99	9	16.7%
10	2	100～	3	5.6%
11	1	未記入	0	0.0%
12	2	合計	54	100.0%
16	2			
18	2			
20	1			
22	1			
25	1			
28	2			
30	1			
32	1			
36	1			
39	1			
40	1			
42	2			
44	1			
47	1			
48	1			
50	1			
64	1			
66	1			
68	1			
76	1			
88	1			
90	1			
93	1			
96	1			
100	1			
124	1			
146	1			
170	1			
未記入			0	
合計			55	



2. 血小板製剤

N=55

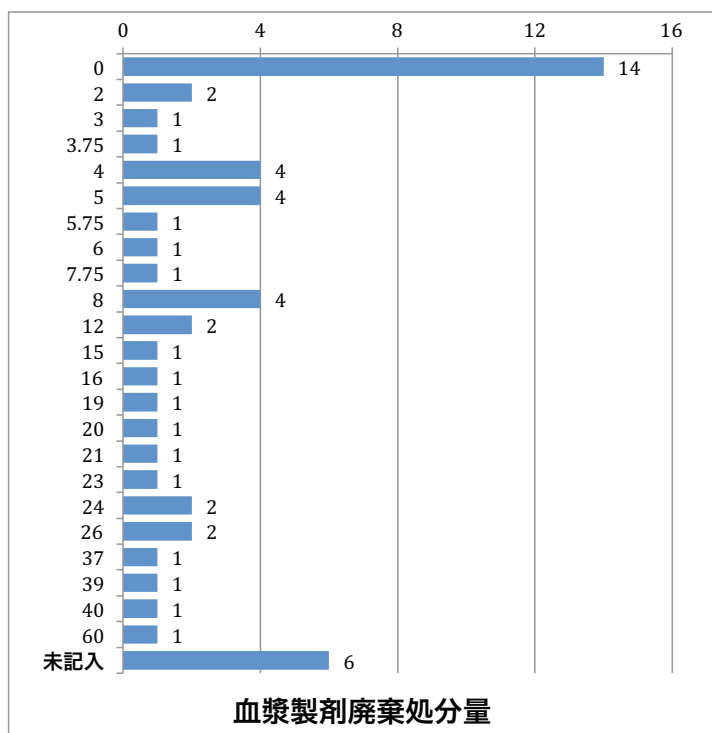
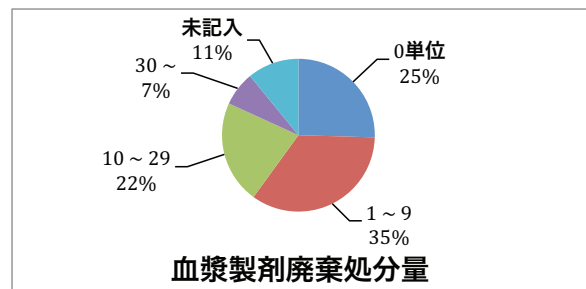
水準	度数	廃棄処分量	度数	割合
0	27	0単位	27	49.1%
10	5	1～50	15	27.3%
20	6	50～99	3	5.5%
30	1	100～	2	3.6%
40	3	未記入	8	14.5%
70	1	合計	55	100.0%
90	2			
130	1			
220	1			
未記入				
合計				



3. 血漿製剤

N=55

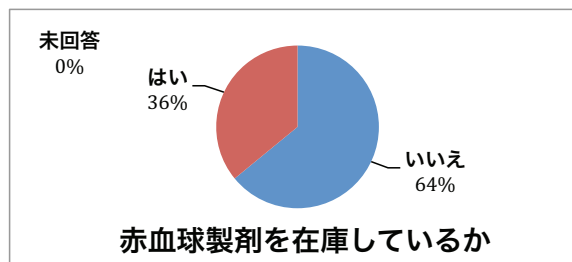
水準	度数	廃棄処分量	度数	割合
0	14	0単位	14	25.5%
2	2	1～9	19	34.5%
3	1	10～29	12	21.8%
3.75	1	30～	4	7.3%
4	4	未記入	6	10.9%
5	4	合計	55	100.0%
5.75	1			
6	1			
7.75	1			
8	4			
12	2			
15	1			
16	1			
19	1			
20	1			
21	1			
23	1			
24	2			
26	2			
37	1			
39	1			
40	1			
60	1			
未記入				
合計				



5-c. 院内で赤血球製剤を在庫しているか

N=64

水準	度数	割合
いいえ	41	64.1%
はい	23	35.9%
未回答	0	0.0%
合計	64	100.0%



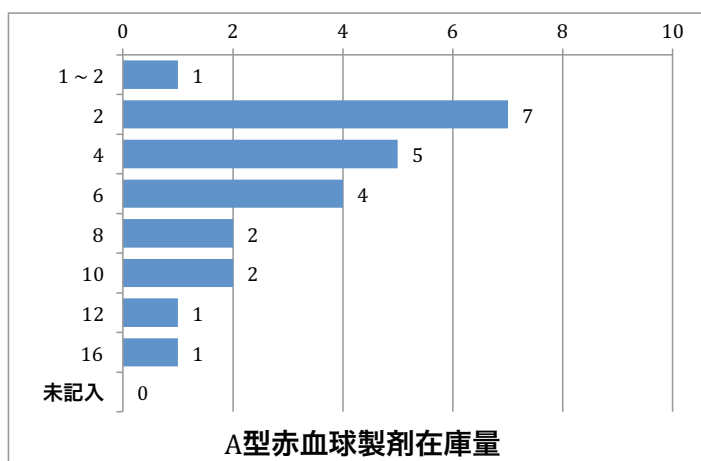
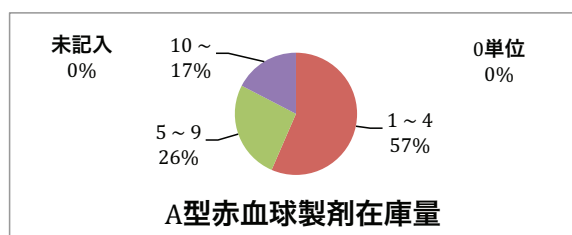
以下[5-cで「はい」(N=23)] の回答

赤血球製剤在庫量

1. A型

N=23

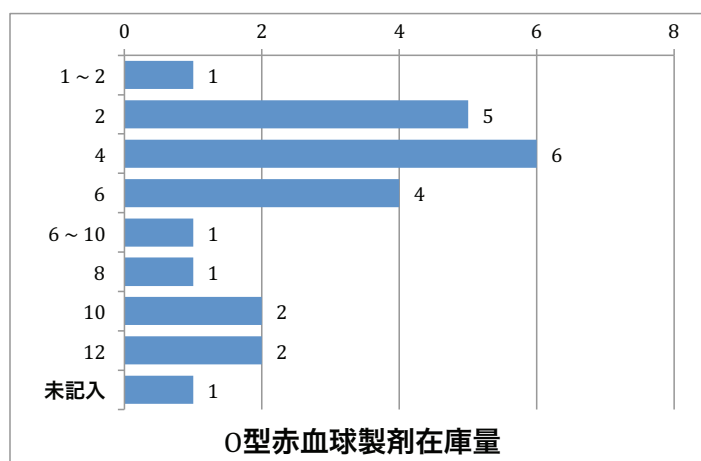
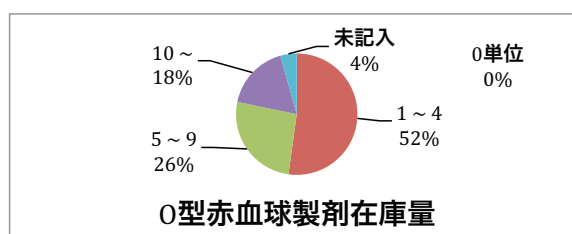
水準	度数	在庫量	度数	割合
1 ~ 2	1	0単位	0	0.0%
2	7	1 ~ 4	13	56.5%
4	5	5 ~ 9	6	26.1%
6	4	10 ~	4	17.4%
8	2	未記入	0	0.0%
10	2	合計	23	100.0%
12	1			
16	1			
未記入	0			
合計	23			



2. O型

N=23

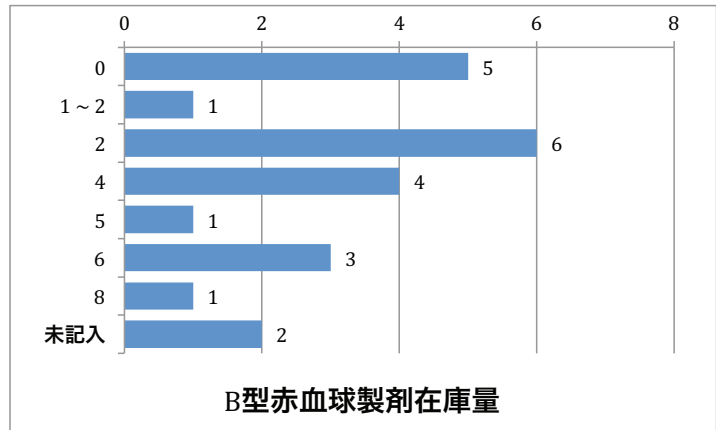
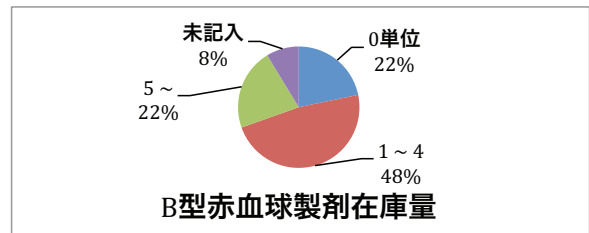
水準	度数	在庫量	度数	割合
1 ~ 2	1	0単位	0	0.0%
2	5	1 ~ 4	12	52.2%
4	6	5 ~ 9	6	26.1%
6	4	10 ~	4	17.4%
6 ~ 10	1	未記入	1	4.3%
8	1	合計	23	100.0%
10	2			
12	2			
未記入	1			
合計	23			



3. B型

N=23

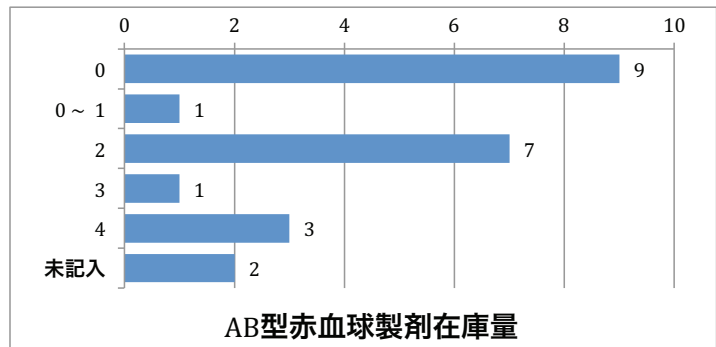
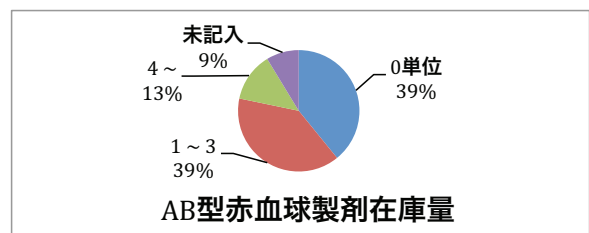
水準	度数	在庫量	度数	割合
0	5	0単位	5	21.7%
1 ~ 2	1	1 ~ 4	11	47.8%
2	6	5 ~	5	21.7%
4	4	未記入	2	8.7%
5	1	合計	23	100.0%
6	3			
8	1			
未記入	2			
合計	23			



4. AB型

N=23

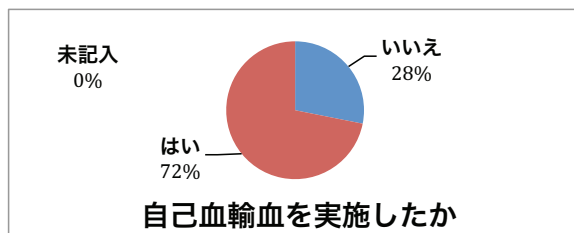
水準	度数	在庫量	度数	割合
0	9	0単位	9	39.1%
0 ~ 1	1	1 ~ 3	9	39.1%
2	7	4 ~	3	13.0%
3	1	未記入	2	8.7%
4	3	合計	23	100.0%
未記入	2			
合計	23			



5-d. 平成22年度以降、現在までに自己血輸血を実施したか

水準	度数	割合
いいえ	18	28.1%
はい	46	71.9%
未記入	0	0.0%
合計	64	100.0%

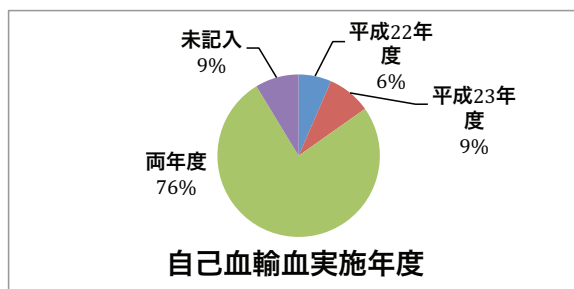
N=64



以下[5-dで「はい」(N=46)]の回答

実施年度	度数	割合
平成22年度	3	6.5%
平成23年度	4	8.7%
両年度	35	76.1%
未記入	4	8.7%
合計	46	100.0%

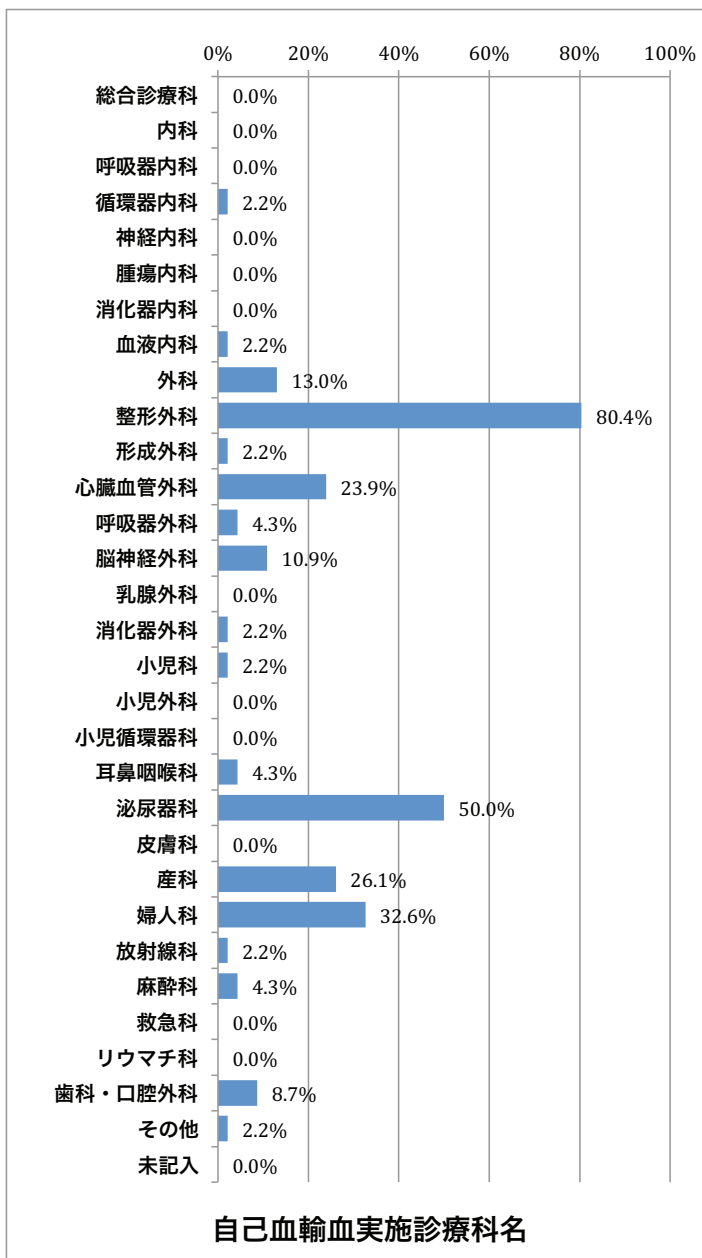
N=46



5-d-1. 自己血輸血を実施している診療科名

N=46

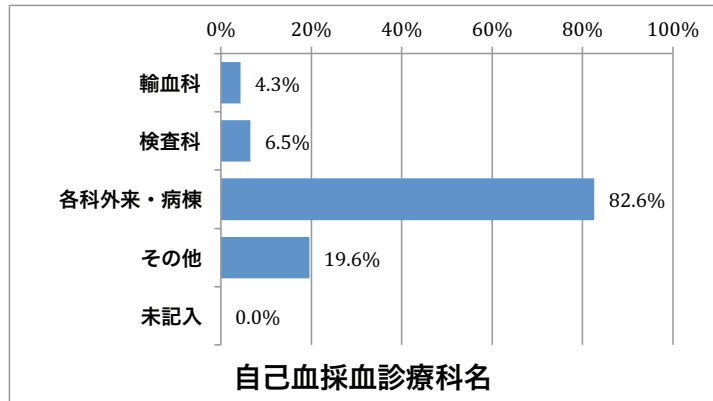
水準	度数	N=46に占める割合
総合診療科	0	0.0%
内科	0	0.0%
呼吸器内科	0	0.0%
循環器内科	1	2.2%
神経内科	0	0.0%
腫瘍内科	0	0.0%
消化器内科	0	0.0%
血液内科	1	2.2%
外科	6	13.0%
整形外科	37	80.4%
形成外科	1	2.2%
心臓血管外科	11	23.9%
呼吸器外科	2	4.3%
脳神経外科	5	10.9%
乳腺外科	0	0.0%
消化器外科	1	2.2%
小児科	1	2.2%
小児外科	0	0.0%
小児循環器科	0	0.0%
耳鼻咽喉科	2	4.3%
泌尿器科	23	50.0%
皮膚科	0	0.0%
産科	12	26.1%
婦人科	15	32.6%
放射線科	1	2.2%
麻酔科	2	4.3%
救急科	0	0.0%
リウマチ科	0	0.0%
歯科・口腔外科	4	8.7%
その他	1	2.2%
未記入	0	0.0%



5-d-2. 自己血を採血している診療科名(部門名)

N=46

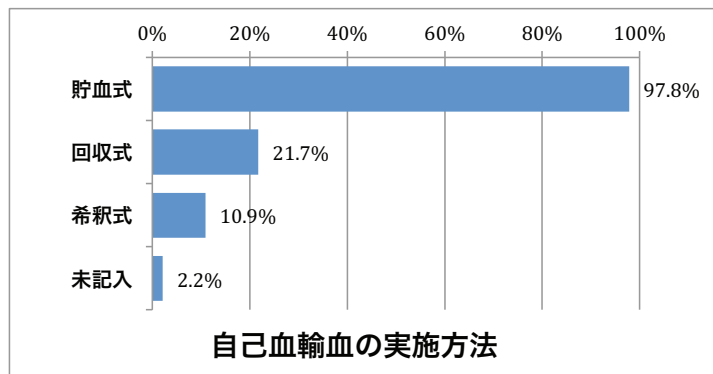
水準	度数	N=46に占める割合
輸血科	2	4.3%
検査科	3	6.5%
各科外来・病棟	38	82.6%
その他	9	19.6%
未記入	0	0.0%



5-d-3. 自己血輸血の実施方法

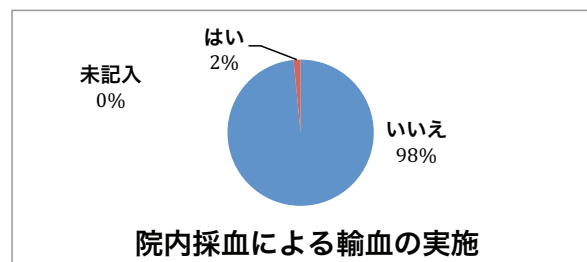
N=46

水準	度数	N=46に占める割合
貯血式	45	97.8%
回収式	10	21.7%
希釈式	5	10.9%
未記入	1	2.2%



5-e. 平成22年度以降、現在までに自己血を除く院内採血による輸血を実施したか

水準	度数	割合	N=64
いいえ	63	98.4%	
はい	1	1.6%	
未記入	0	0.0%	
合計	64	100.0%	

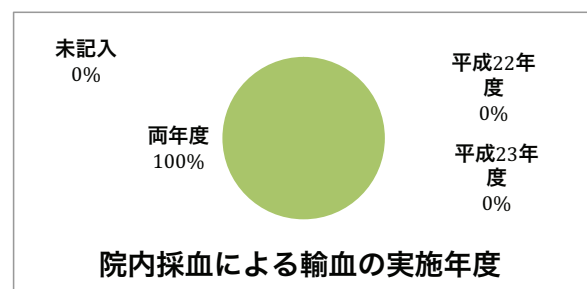


以下[5-eで「はい」(N=1)]の回答

実施年度

N=1

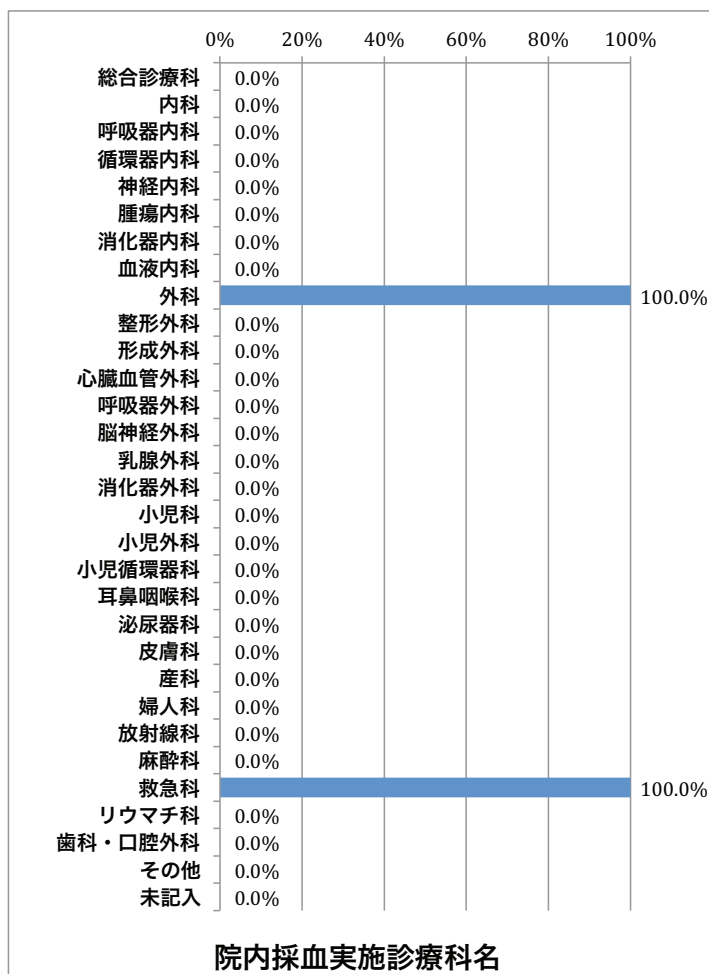
水準	度数	割合
平成22年度	0	0.0%
平成23年度	0	0.0%
両年度	1	100.0%
未記入	0	0.0%
合計	1	100.0%



5-e-1. 院内採血を実施している診療科名

N=1

水準	度数	N=1に占める割合
総合診療科	0	0.0%
内科	0	0.0%
呼吸器内科	0	0.0%
循環器内科	0	0.0%
神経内科	0	0.0%
腫瘍内科	0	0.0%
消化器内科	0	0.0%
血液内科	0	0.0%
外科	1	100.0%
整形外科	0	0.0%
形成外科	0	0.0%
心臓血管外科	0	0.0%
呼吸器外科	0	0.0%
脳神経外科	0	0.0%
乳腺外科	0	0.0%
消化器外科	0	0.0%
小児科	0	0.0%
小児外科	0	0.0%
小児循環器科	0	0.0%
耳鼻咽喉科	0	0.0%
泌尿器科	0	0.0%
皮膚科	0	0.0%
産科	0	0.0%
婦人科	0	0.0%
放射線科	0	0.0%
麻酔科	0	0.0%
救急科	1	100.0%
リウマチ科	0	0.0%
歯科・口腔外科	0	0.0%
その他	0	0.0%
未記入	0	0.0%



5-e-2. 平成22年(平成22年度)実施回数

N=1

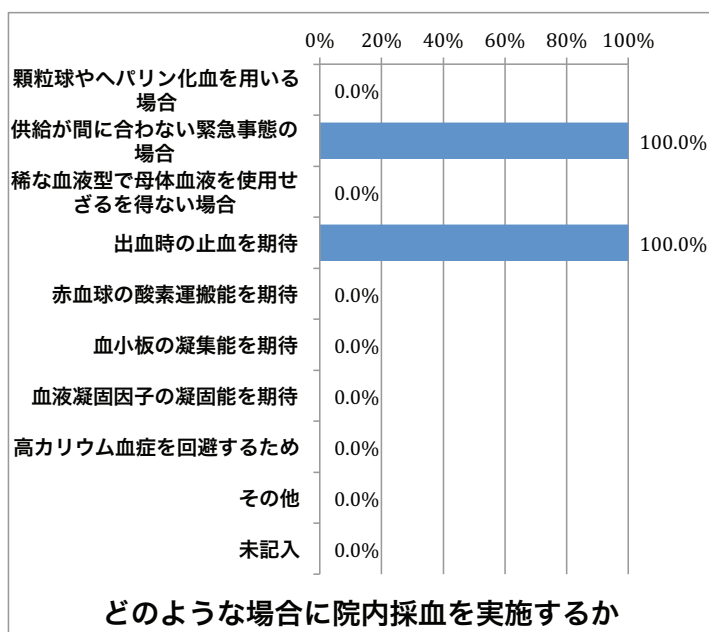
水準	度数	割合
	3	100.0%
未記入	0	0.0%
合計	1	100.0%



5-e-3. どのような場合に院内採血を実施するか

N=1

水準	度数	N=1に占める割合
顆粒球やヘパリン化血を用いる場合	0	0.0%
供給が間に合わない緊急事態の場合	1	100.0%
稀な血液型で母体血液を使用せざるを得ない場合	0	0.0%
出血時の止血を期待	1	100.0%
赤血球の酸素運搬能を期待	0	0.0%
血小板の凝集能を期待	0	0.0%
血液凝固因子の凝固能を期待	0	0.0%
高カリウム血症を回避するため	0	0.0%
その他	0	0.0%
未記入	0	0.0%

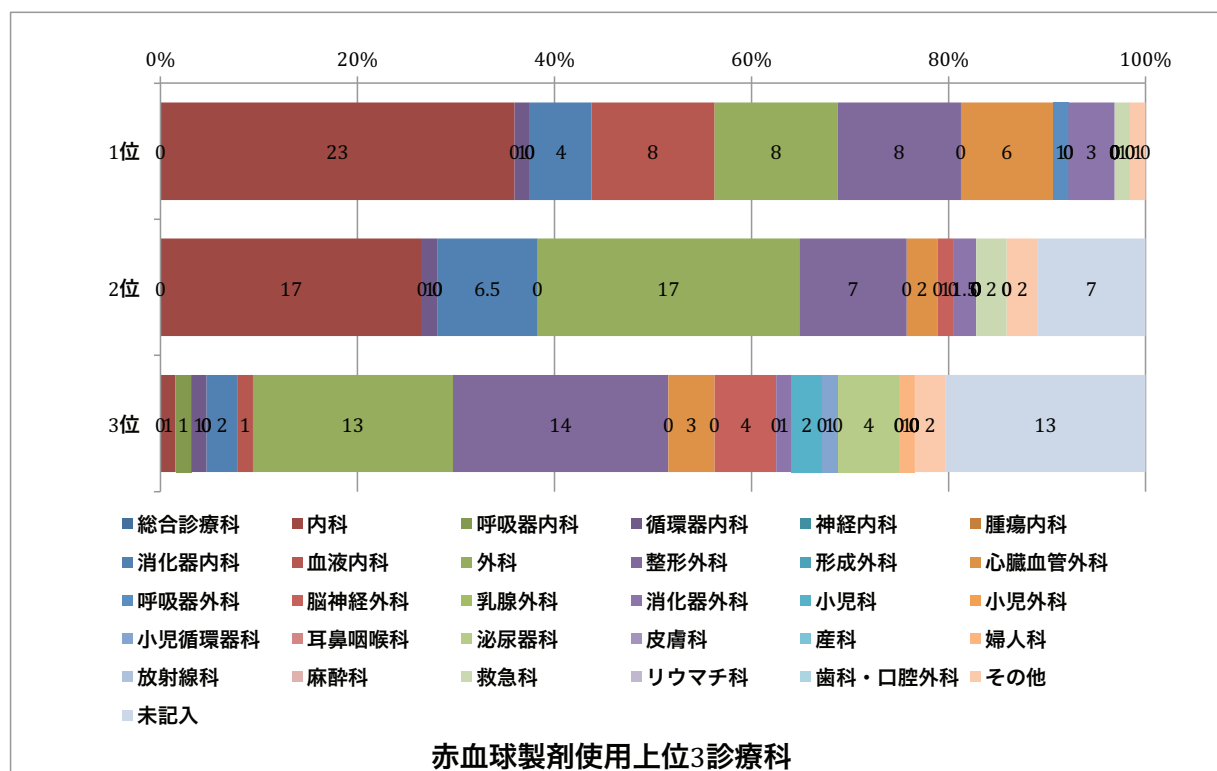
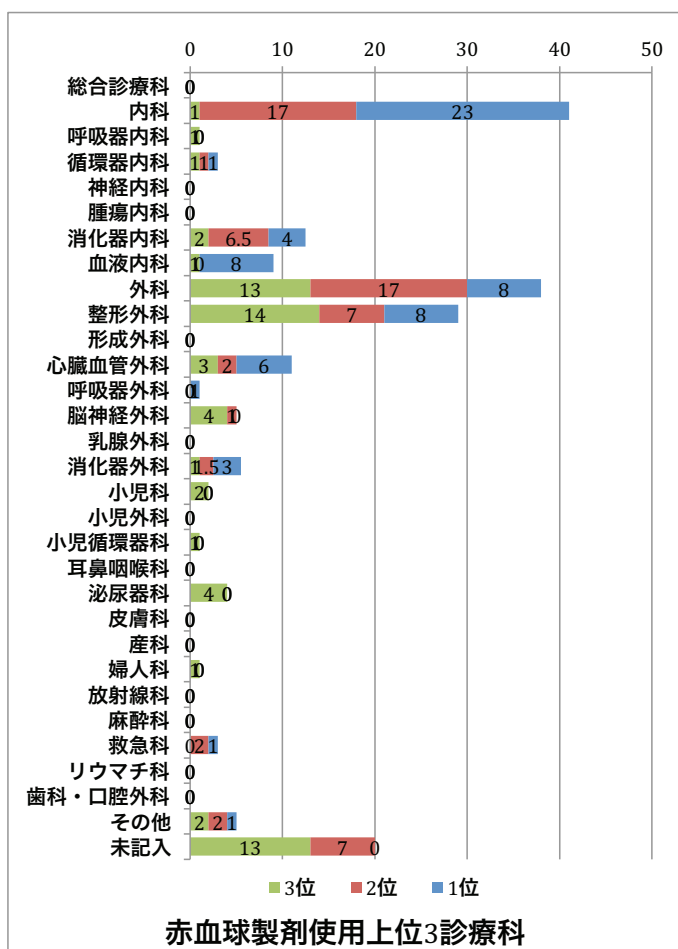


5-f. 平成22年(平成22年度)の輸血用血液製剤を使用する上位3診療科

赤血球製剤

N=64

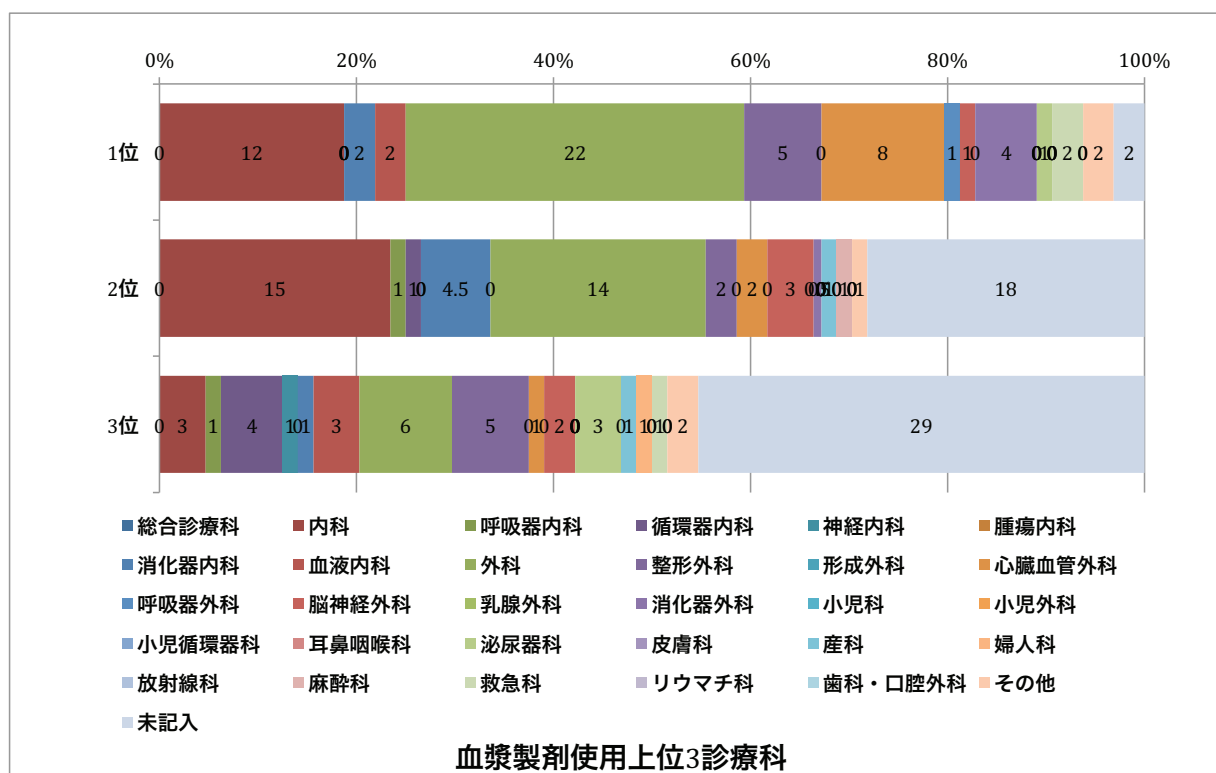
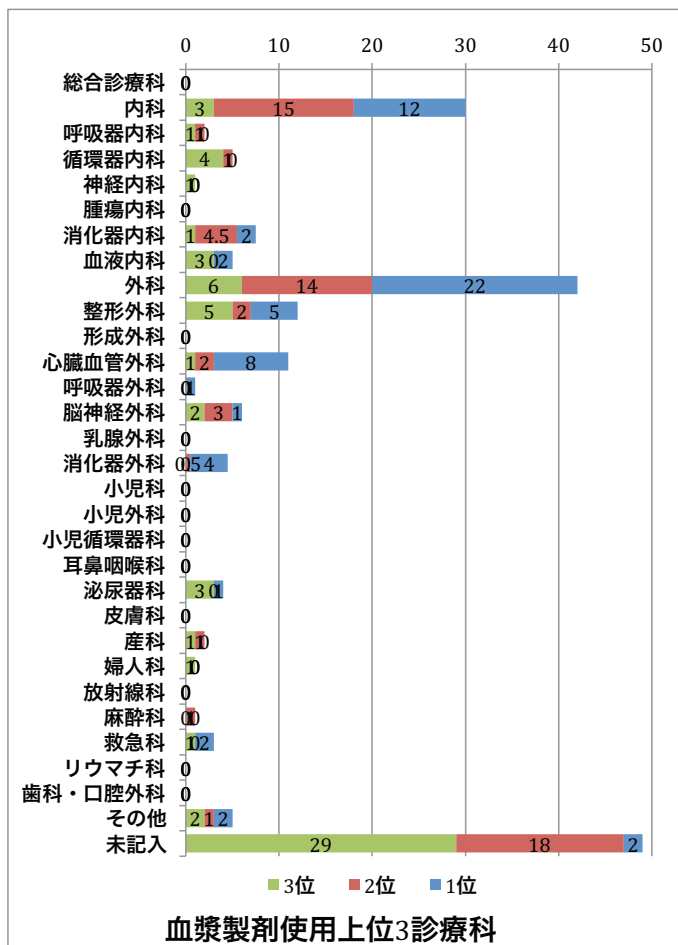
水準	1位	2位	3位
総合診療科	0	0	0
内科	23	17	1
呼吸器内科	0	0	1
循環器内科	1	1	1
神経内科	0	0	0
腫瘍内科	0	0	0
消化器内科	4	6.5	2
血液内科	8	0	1
外科	8	17	13
整形外科	8	7	14
形成外科	0	0	0
心臓血管外科	6	2	3
呼吸器外科	1	0	0
脳神経外科	0	1	4
乳腺外科	0	0	0
消化器外科	3	1.5	1
小児科	0	0	2
小児外科	0	0	0
小児循環器科	0	0	1
耳鼻咽喉科	0	0	0
泌尿器科	0	0	4
皮膚科	0	0	0
産科	0	0	0
婦人科	0	0	1
放射線科	0	0	0
麻酔科	0	0	0
救急科	1	2	0
リウマチ科	0	0	0
歯科・口腔外科	0	0	0
その他	1	2	2
未記入	0	7	13
合計	64	64	64



血漿製剤

N=64

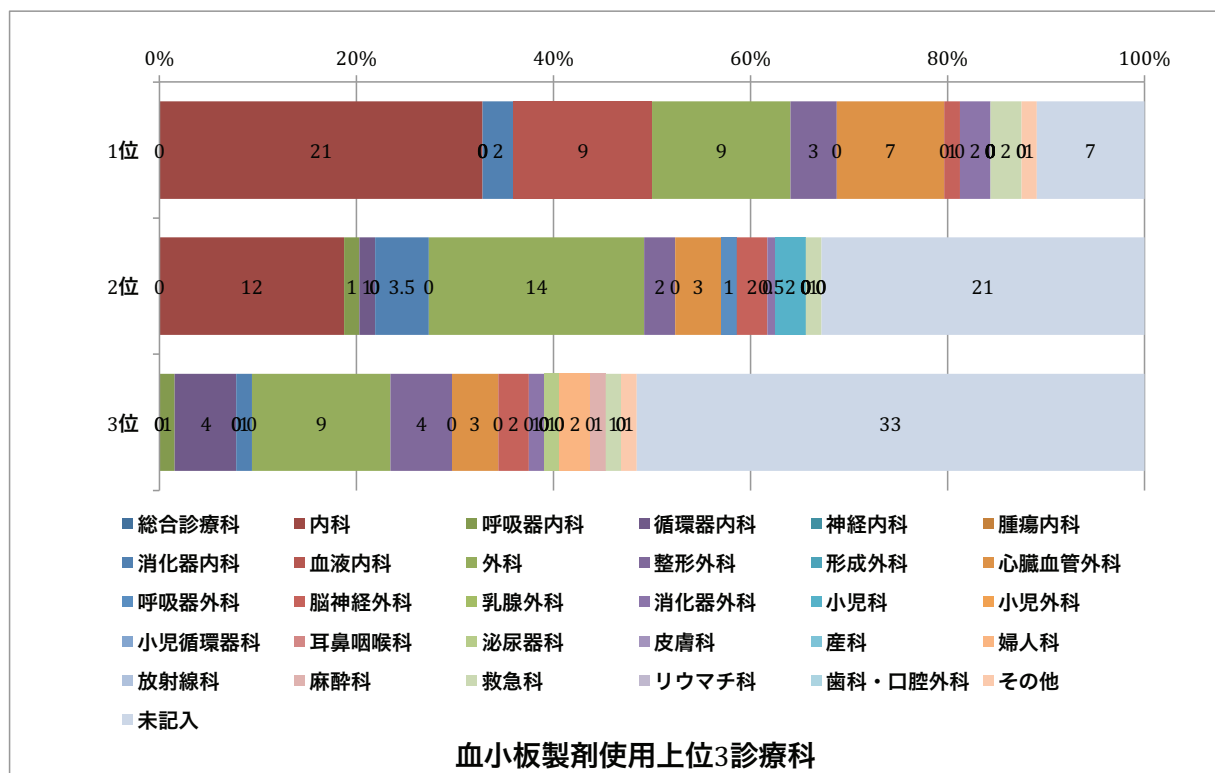
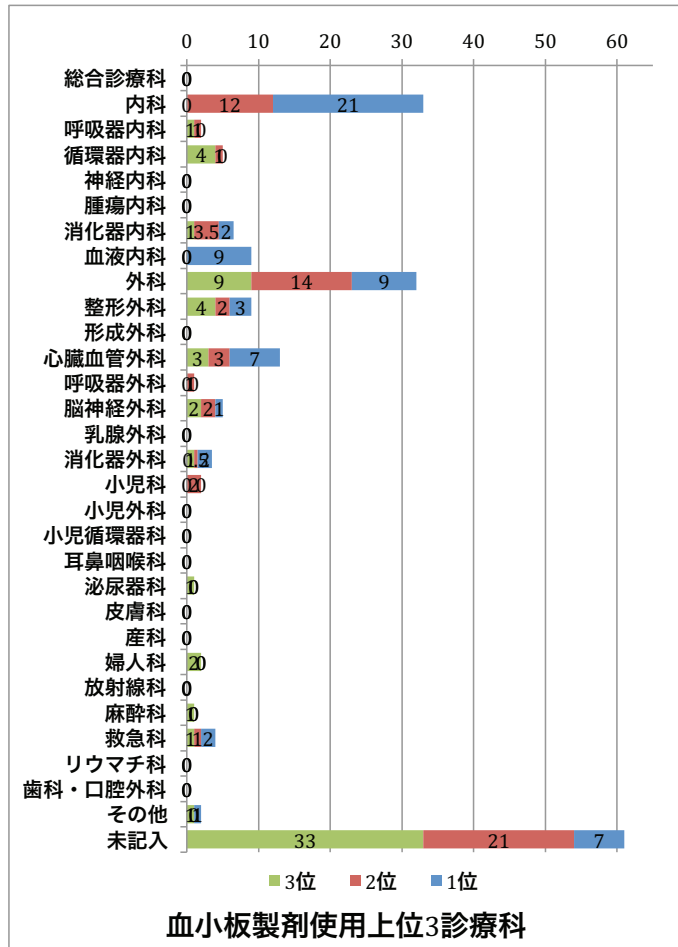
水準	1位	2位	3位
総合診療科	0	0	0
内科	12	15	3
呼吸器内科	0	1	1
循環器内科	0	1	4
神経内科	0	0	1
腫瘍内科	0	0	0
消化器内科	2	4.5	1
血液内科	2	0	3
外科	22	14	6
整形外科	5	2	5
形成外科	0	0	0
心血管外科	8	2	1
呼吸器外科	1	0	0
脳神経外科	1	3	2
乳腺外科	0	0	0
消化器外科	4	0.5	0
小児科	0	0	0
小児外科	0	0	0
小児循環器科	0	0	0
耳鼻咽喉科	0	0	0
泌尿器科	1	0	3
皮膚科	0	0	0
産科	0	1	1
婦人科	0	0	1
放射線科	0	0	0
麻酔科	0	1	0
救急科	2	0	1
リウマチ科	0	0	0
歯科・口腔外科	0	0	0
その他	2	1	2
未記入	2	18	29
合計	64	64	64



血小板製剤

N=64

水準	1位	2位	3位
総合診療科	0	0	0
内科	21	12	0
呼吸器内科	0	1	1
循環器内科	0	1	4
神経内科	0	0	0
腫瘍内科	0	0	0
消化器内科	2	3.5	1
血液内科	9	0	0
外科	9	14	9
整形外科	3	2	4
形成外科	0	0	0
心臓血管外科	7	3	3
呼吸器外科	0	1	0
脳神経外科	1	2	2
乳腺外科	0	0	0
消化器外科	2	0.5	1
小児科	0	2	0
小児外科	0	0	0
小児循環器科	0	0	0
耳鼻咽喉科	0	0	0
泌尿器科	0	0	1
皮膚科	0	0	0
産科	0	0	0
婦人科	0	0	2
放射線科	0	0	0
麻酔科	0	0	1
救急科	2	1	1
リウマチ科	0	0	0
歯科・口腔外科	0	0	0
その他	1	0	1
未記入	7	21	33
合計	64	64	64

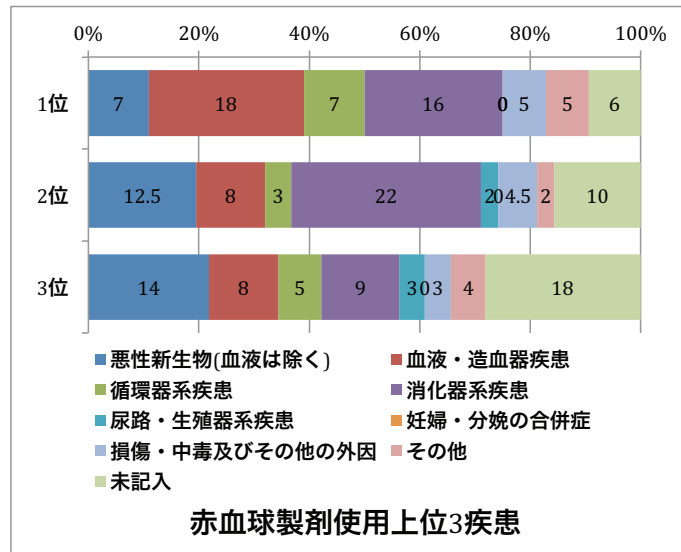


5-g. 平成22年(平成22年度)の輸血用血液製剤を使用する上位3疾患

赤血球製剤

N=64

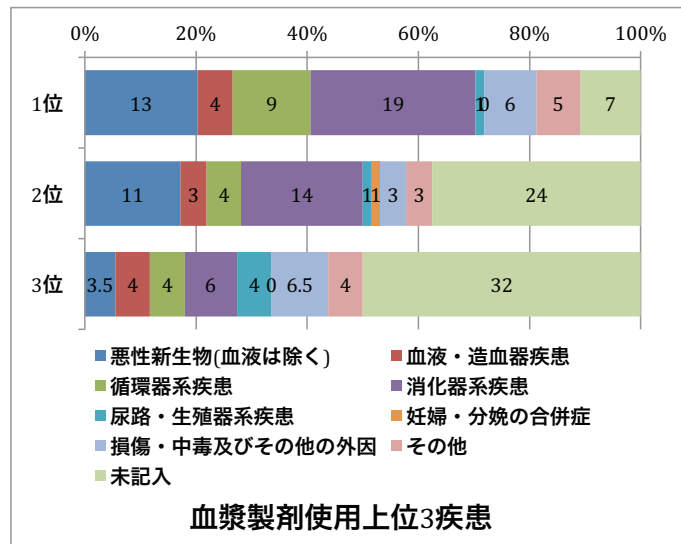
水準	1位	2位	3位
悪性新生物(血液は除く)	7	12.5	14
血液・造血管疾患	18	8	8
循環器系疾患	7	3	5
消化器系疾患	16	22	9
尿路・生殖器系疾患	0	2	3
妊婦・分娩の合併症	0	0	0
損傷・中毒及びその他の外因	5	4.5	3
その他	5	2	4
未記入	6	10	18
合計	64	64	64



血漿製剤

N=64

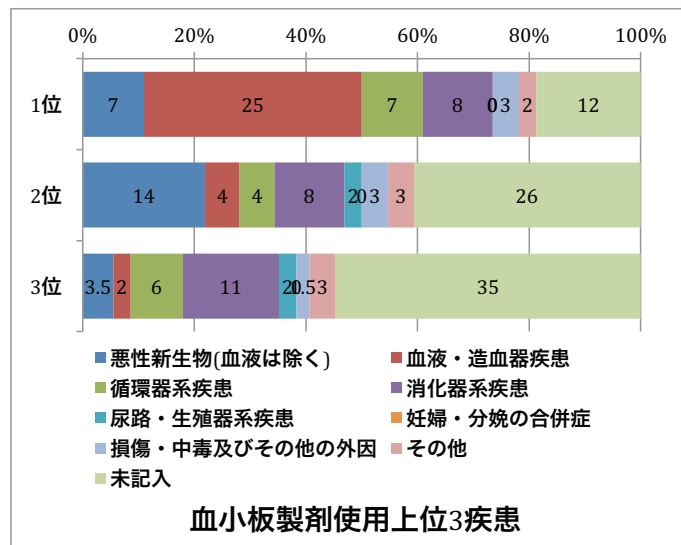
水準	1位	2位	3位
悪性新生物(血液は除く)	13	11	3.5
血液・造血管疾患	4	3	4
循環器系疾患	9	4	4
消化器系疾患	19	14	6
尿路・生殖器系疾患	1	1	4
妊婦・分娩の合併症	0	1	0
損傷・中毒及びその他の外因	6	3	6.5
その他	5	3	4
未記入	7	24	32
合計	64	64	64



血小板製剤

N=64

水準	1位	2位	3位
悪性新生物(血液は除く)	7	14	3.5
血液・造血管疾患	25	4	2
循環器系疾患	7	4	6
消化器系疾患	8	8	11
尿路・生殖器系疾患	0	2	2
妊婦・分娩の合併症	0	0	0
損傷・中毒及びその他の外因	3	3	1.5
その他	2	3	3
未記入	12	26	35
合計	64	64	64

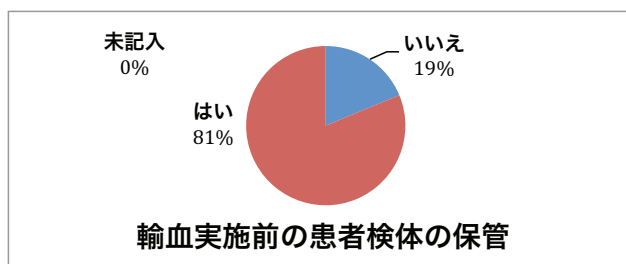


6. 遡及調査について

6-a. 輸血実施前の患者検体を保管しているか

N=64

水準	度数	割合
いいえ	12	18.8%
はい	52	81.3%
未記入	0	0.0%
合計	64	100.0%

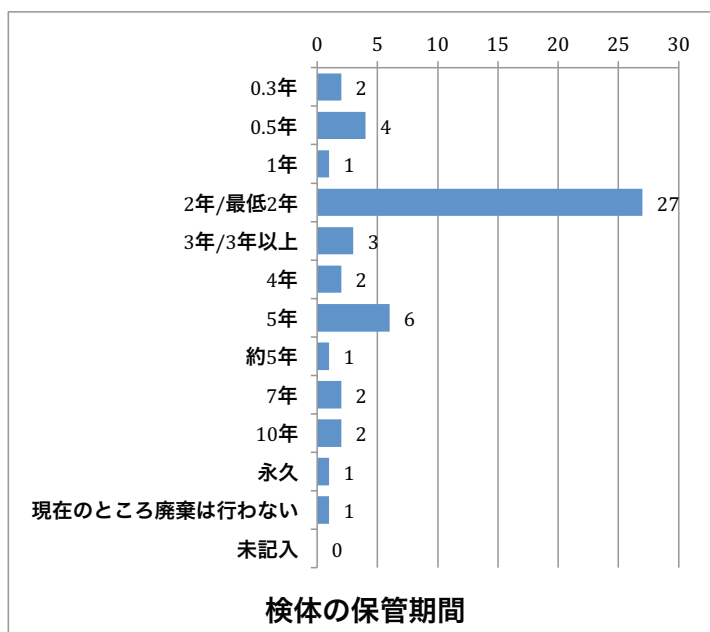


以下[6-aで「はい」(N=52)]の回答

検体の保管期間

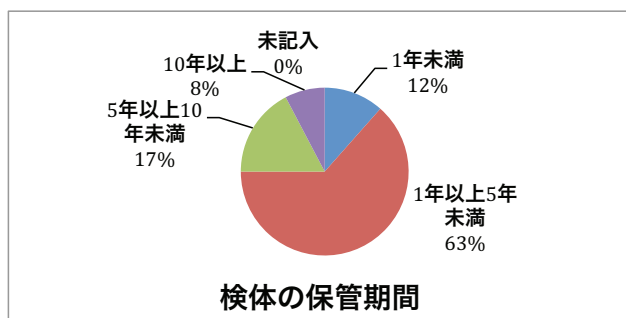
N=52

水準	度数	割合
0.3年	2	3.8%
0.5年	4	7.7%
1年	1	1.9%
2年/最低2年	27	51.9%
3年/3年以上	3	5.8%
4年	2	3.8%
5年	6	11.5%
約5年	1	1.9%
7年	2	3.8%
10年	2	3.8%
永久	1	1.9%
現在のところ廃棄は行わない	1	1.9%
未記入	0	0.0%
合計	52	100.0%



N=52

保管期間	度数	割合
1年未満	6	11.5%
1年以上5年未満	33	63.5%
5年以上10年未満	9	17.3%
10年以上	4	7.7%
未記入	0	0.0%
合計	52	100.0%

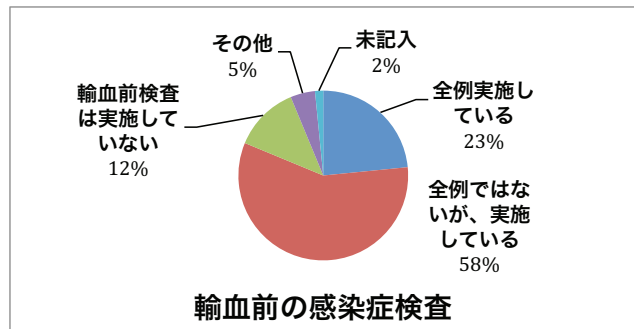


6-b. 輸血前後の感染症検査の実施

輸血前検査

N=64

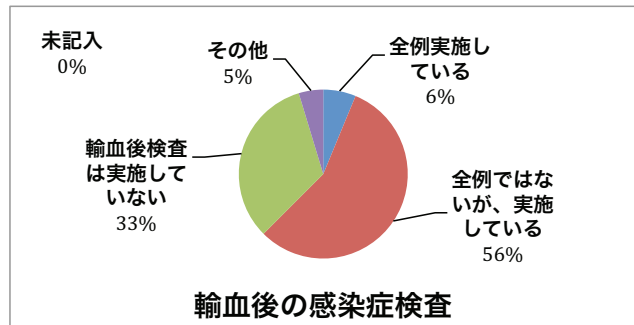
水準	度数	割合
全例実施している	15	23.4%
全例ではないが、実施している	37	57.8%
輸血前検査は実施していない	8	12.5%
その他	3	4.7%
未記入	1	1.6%
合計	64	100.0%



輸血後検査

N=64

水準	度数	割合
全例実施している	4	6.3%
全例ではないが、実施している	36	56.3%
輸血後検査は実施していない	21	32.8%
その他	3	4.7%
未記入	0	0.0%
合計	64	100.0%

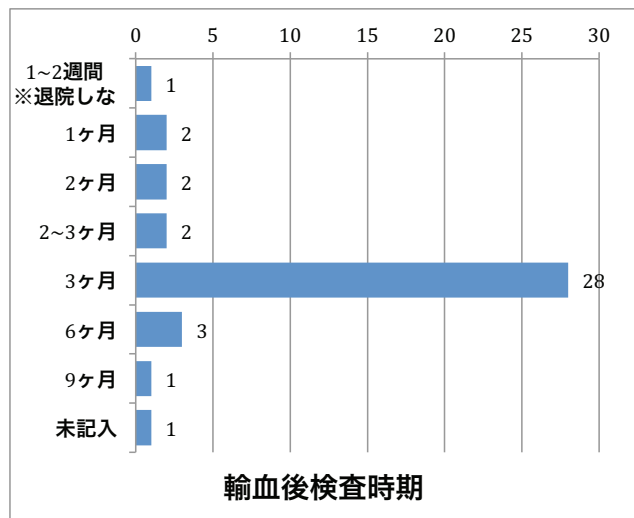


以下[6-b. 輸血後検査で「全例実施している」もしくは「全例ではないが、実施している」(N=40)]の回答

輸血後検査時期

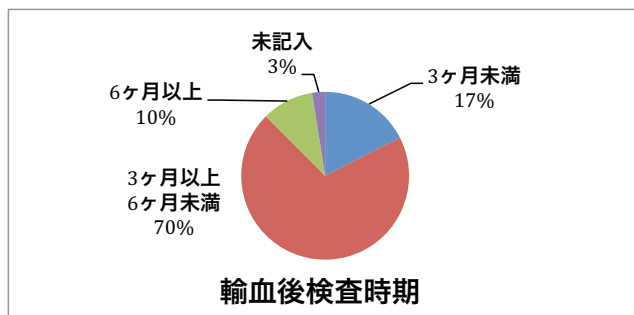
N=40

水準	度数	割合
1~2週間 ※退院しないうちに実施	1	2.5%
1ヶ月	2	5.0%
2ヶ月	2	5.0%
2~3ヶ月	2	5.0%
3ヶ月	28	70.0%
6ヶ月	3	7.5%
9ヶ月	1	2.5%
未記入	1	2.5%
合計	40	100.0%



N=40

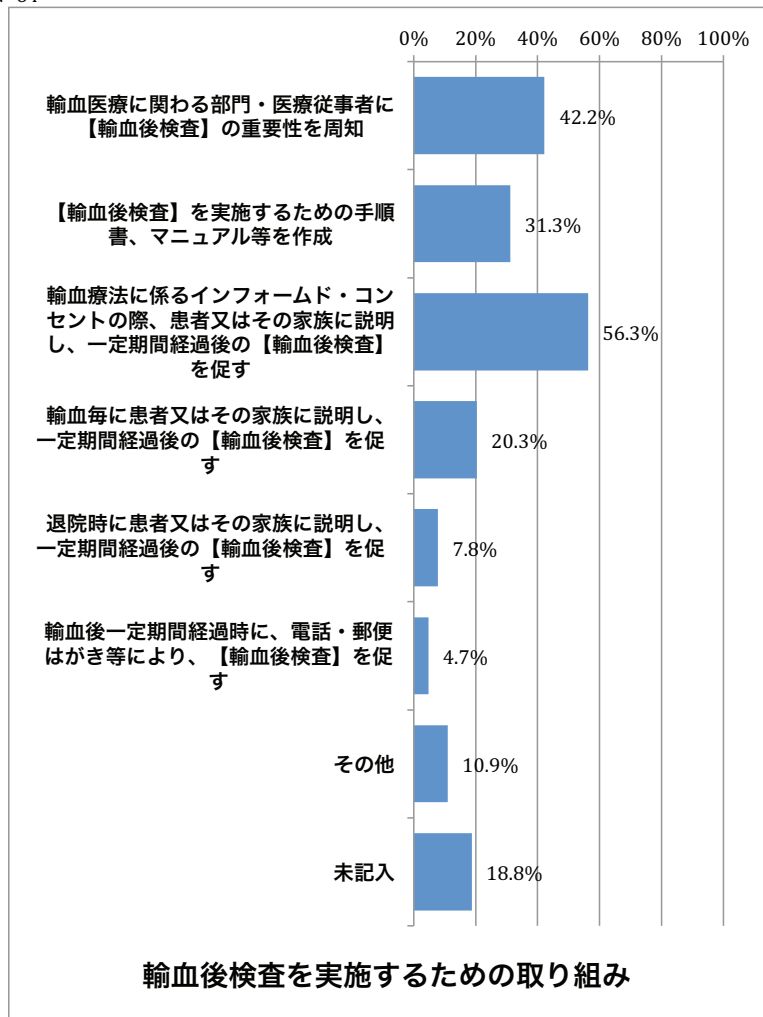
検査時期	度数	割合
3ヶ月未満	7	17.5%
3ヶ月以上6ヶ月未満	28	70.0%
6ヶ月以上	4	10.0%
未記入	1	2.5%
合計	40	100.0%



6-c. 輸血後検査を実施するための取り組み

N=64

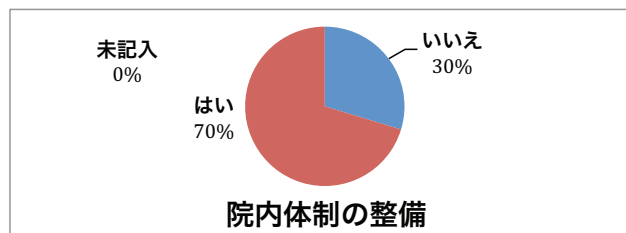
水準	度数	N=64に 占める割合
輸血医療に関わる部門・医療従事者に【輸血後検査】の重要性を周知	27	42.2%
【輸血後検査】を実施するための手順書、マニュアル等を作成	20	31.3%
輸血療法に係るインフォームド・コンセントの際、患者又はその家族に説明し、一定期間経過後の【輸血後検査】を促す	36	56.3%
輸血毎に患者又はその家族に説明し、一定期間経過後の【輸血後検査】を促す	13	20.3%
退院時に患者又はその家族に説明し、一定期間経過後の【輸血後検査】を促す	5	7.8%
輸血後一定期間経過時に、電話・郵便はがき等により、【輸血後検査】を促す	3	4.7%
その他	7	10.9%
未記入	12	18.8%



7. 緊急時の輸血について

7-a. 緊急時の輸血に対応するための院内体制の整備 N=64

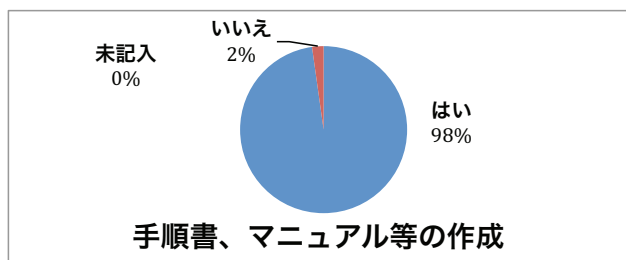
水準	度数	割合
いいえ	19	29.7%
はい	45	70.3%
未記入	0	0.0%
合計	64	100.0%



以下[7-aで「はい」(N=45)]の回答

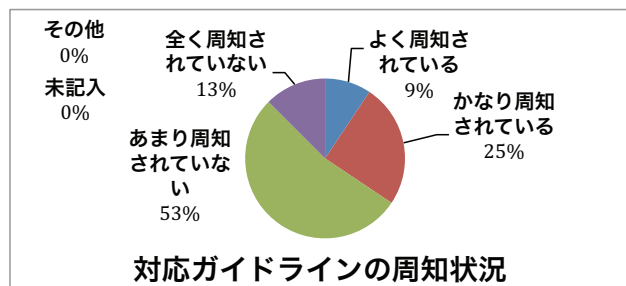
7-a-1. 手順書、マニュアル等の作成 N=45

水準	度数	割合
はい	44	97.8%
いいえ	1	2.2%
未記入	0	0.0%
合計	45	100.0%

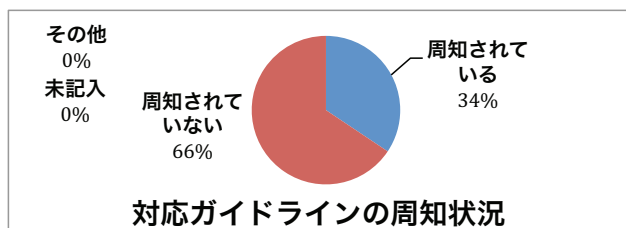


7-b. 「危機的出血への対応ガイドライン」の周知状況 N=64

水準	度数	割合
よく周知されている	6	9.4%
かなり周知されている	16	25.0%
あまり周知されていない	34	53.1%
全く周知されていない	8	12.5%
その他	0	0.0%
未記入	0	0.0%
合計	64	100.0%

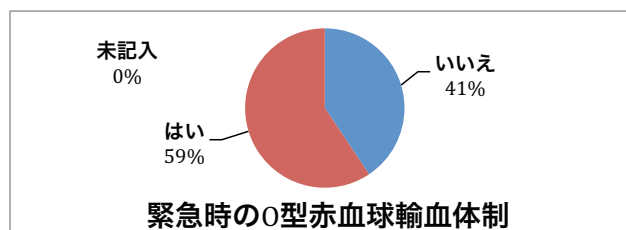


ガイドラインの周知状況	度数	割合
周知されている	22	34.4%
周知されていない	42	65.6%
その他	0	0.0%
未記入	0	0.0%
合計	64	100.0%



7-c. 緊急時にO型赤血球を輸血する体制となっているか N=64

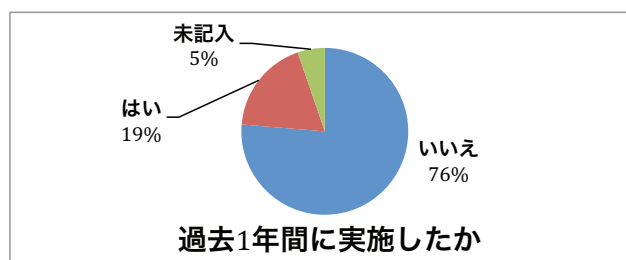
水準	度数	割合
いいえ	26	40.6%
はい	38	59.4%
未記入	0	0.0%
合計	64	100.0%



以下[7-cで「はい」(N=37)]の回答

過去1年間に実施したか N=38

水準	度数	割合
いいえ	29	76.3%
はい	7	18.4%
未記入	2	5.3%
合計	38	100.0%



7-d. 緊急時にO型以外の適合赤血球を輸血する体制となっているか

水準	度数	割合
いいえ	44	68.8%
はい	20	31.3%
未記入	0	0.0%
合計	64	100.0%

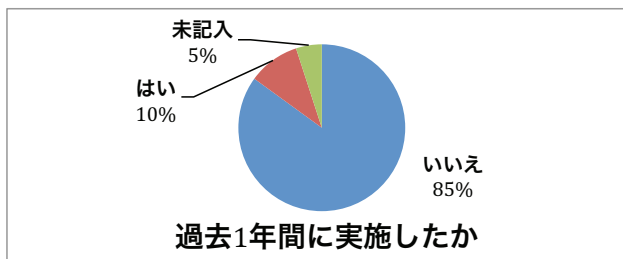
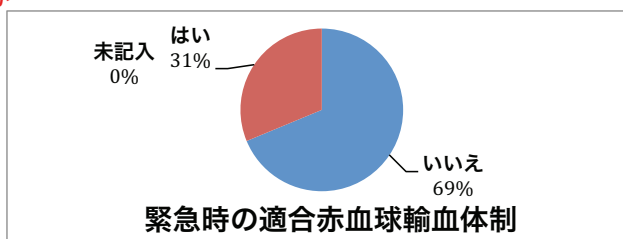
N=64

以下[7-dで「はい」(N=20)]の回答

過去1年間に実施したか

N=20

水準	度数	割合
いいえ	17	85.0%
はい	2	10.0%
未記入	1	5.0%
合計	20	100.0%

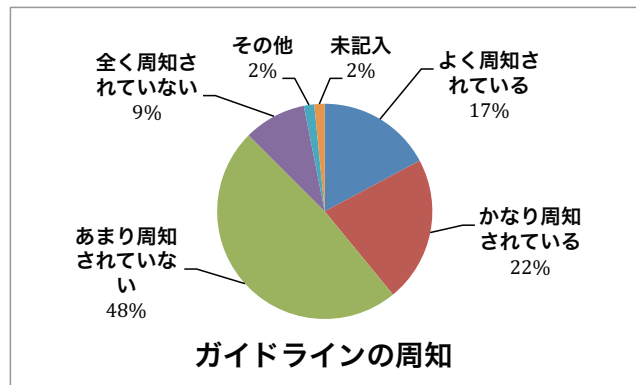


8. 宗教的輸血忌避患者への対応

8-a. 「宗教的輸血拒否に関するガイドライン」の周知

水準	度数	割合
よく周知されている	11	17.2%
かなり周知されている	14	21.9%
あまり周知されていない	31	48.4%
全く周知されていない	6	9.4%
その他	1	1.6%
未記入	1	1.6%
合計	64	100.0%

N=64



8-b. 宗教的輸血忌避患者への対応についての手順書・マニュアル等の作成

水準	度数	割合
いいえ	29	45.3%
はい	35	54.7%
未記入	0	0.0%
合計	64	100.0%

N=64

